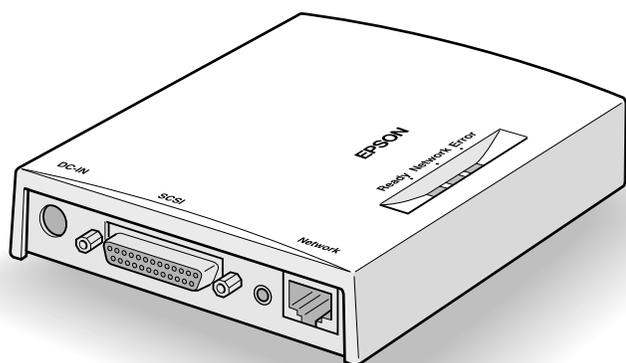


EPSON

ネットワークスキャンボックス

ESNSB2 取扱説明書



本書は、製品の近くに置いてご活用ください。

network scanner

CONTENTS

ESNSB2の機能と仕組み

ESNSB2のセットアップ

ネットワークスキャンの仕方

サーバスキャン/スキャンEメール
設定の前に

サーバスキャンの設定

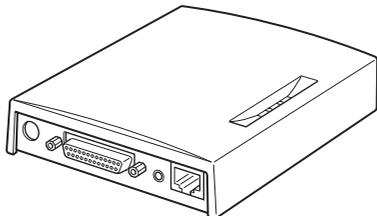
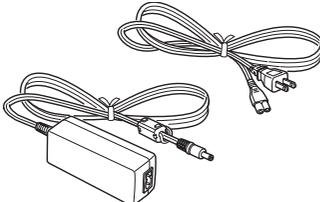
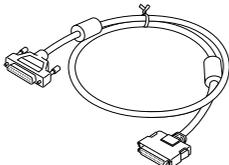
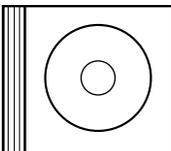
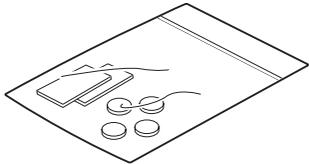
スキャンEメールの設定

困ったときは

付録

内容物の確認

このたびは ESNSB2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
梱包を開けたら、付属品がすべてそろっていることと、ESNSB2 本体、および付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、不足や不良がございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> ESNSB2 	<input type="checkbox"/> AC アダプタ / AC ケーブル 
<input type="checkbox"/> SCSI ケーブル 	<input type="checkbox"/> ソフトウェア CD-ROM 
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書) <input type="checkbox"/> 保証書 修理を依頼される時に必要です。大切に保管してください。	<input type="checkbox"/> 付属品パック ゴム足×4、マジックテープ×2 

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

安全にお使いいただくために もくじは6 ページにあります

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

安全上のご注意(ESNSB2/ACアダプタ共通)

⚠ 警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

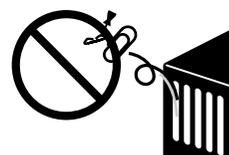


(取扱説明書で指示されている以外の) 分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



通風口など開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

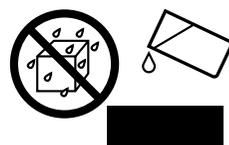
感電・火災の原因となります。



異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。



⚠ 注意

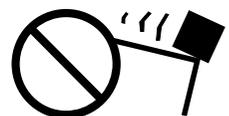
小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。

感電・火災のおそれがあります。



本製品の上に載ったり、重いものを置かないでください。

特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。



⚠ 注意

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。



連休や旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしてしないでください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。



本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。



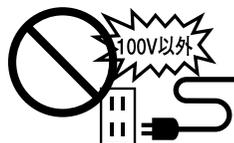
他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



安全上のご注意(ACアダプタ)

⚠ 警告

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

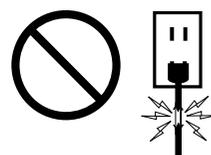


破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重い物を乗せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

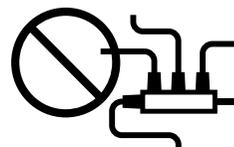
電源コードが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。



電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。

発熱し火災の原因となります。

家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。



電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



⚠ 注意

本製品は、指定された機器以外の製品、あるいは他の用途には使用しないでください。
指定製品以外に接続して使用した場合、接続した製品が発煙や発火など危険な状態になる可能性があります
ので、ご注意ください。

ACアダプタを布団などで覆った状態で使用しないでください。

雷が鳴っている時は、すみやかに電源コードをコンセントから抜いてください。

ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電圧変動や電気的なノイズを発生する機器（大型モーターを使っている機器）などから離れたコンセントを
ご使用ください。

ACアダプタには電源スイッチがありません。万一接続機器側で異常が発生した場合は、すぐに電源コードを
抜いて、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

電源コードは、コネクタ部を持って取り外してください。

電源コードが伸びきった状態では使用しないでください。

電源コードでACアダプタを吊り下げないでください。

電源コードやACアダプタのコネクタに、クリップなどの金属性のものを接触させないでください。

テーブルタップや延長コードは使用しないでください。

本製品が汚れた時は、乾燥した布または水をつけて固くしぼった布でふき取ってください。この際、電源コード
をコンセントから取り外してください。

シンナー、ベンジン、またはアルコールなどでクリーニングしないでください。

本書のもくじ

安全にお使いいただくために.....	1
安全上のご注意(ESNSB2/ACアダプタ共通) ..	2
安全上のご注意(ACアダプタ).....	4
本書のもくじ.....	6
各部の名称とはたらき.....	8
本文中のマークと表記について.....	9
PDF版取扱説明書のご案内.....	10

ESNSB2の機能と仕組み

ネットワークスキャン機能.....	12
ネットワークスキャンの仕組み.....	12
サーバスキャン機能	
(コピーユニット接続時).....	13
サーバスキャンの概要.....	13
サーバスキャンを行うための	
ネットワーク構成.....	14
スキャンEメール機能	
(コピーユニット接続時).....	16
スキャンEメールの概要.....	16
スキャンEメールを行うための	
ネットワーク構成.....	17
動作環境.....	19

ESNSB2のセットアップ

設置上のご注意.....	24
ESNSB2の接続.....	25
スキャナの準備.....	25
スキャナとネットワークへの接続.....	26
ACアダプタの接続.....	28
ESNSB2のネットワーク設定.....	30
設定で使用するコンピュータの	
ネットワーク設定.....	30
ESNSB2のネットワーク設定.....	31
ダイヤルアップルータ使用時のご注意.....	35
DHCP機能使用時の注意.....	35
Webブラウザの設定についての注意.....	35

ネットワークスキャンの仕方

ネットワークスキャンの準備.....	38
クライアントPCのTCP/IP設定.....	38
ソフトウェアのインストール.....	38
ネットワークスキャンの仕方.....	40
スキャナとESNSB2の準備.....	40
画像の取り込み.....	40

サーバスキャン/ スキャンEメール設定の前に

設定前の準備の流れ.....	42
ネットワーク設定.....	44

共有フォルダの作成.....	46
----------------	----

サーバスキャンの設定

サーバスキャン設定の流れ.....	52
EpsonNet ScanAgent/ScanEditorでの設定.....	52
EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定.....	54
ソフトウェアのインストール.....	56
EpsonNet ScanAgentのインストール.....	56
EpsonNet ScanEditorのインストール.....	58
ネットワークスキャンボックスの	
新規登録.....	59
サーバスキャンユーザーの新規登録.....	62
プロファイルの編集.....	66

スキャンEメールの設定

スキャンEメール設定の流れ.....	76
EpsonNet ScanAgent/ScanEditorでの設定.....	76
EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定.....	79
スキャンEメール設定.....	81
スキャンEメールユーザーの新規登録.....	87
メールプリセットの編集.....	90
メールアドレス/件名/本文などの設定.....	95
宛先リストの設定.....	100

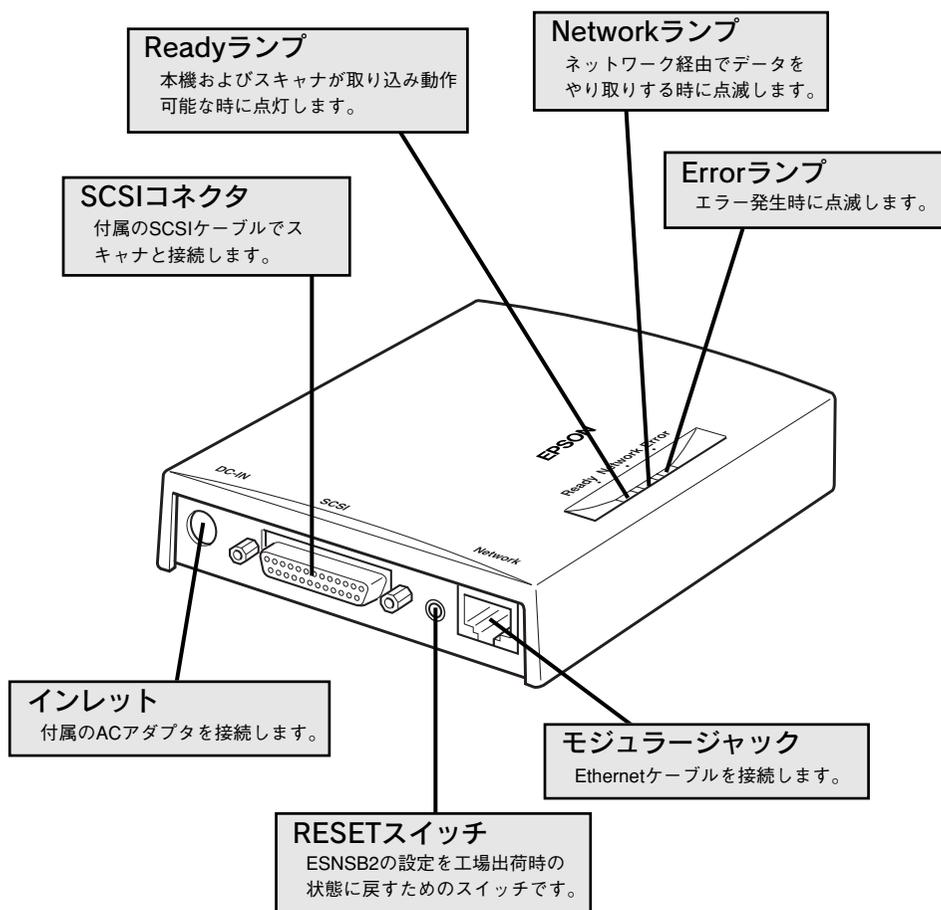
困ったときは

トラブルが発生したら.....	104
ESNSB2本体のトラブル.....	105
ランプ表示.....	105
ACアダプタを接続しても電源が入らない.....	106
ESNSB2がネットワークで認識されない.....	106
漏洩電流について.....	106
サーバスキャン/スキャンEメールの	
トラブル.....	107
サーバスキャン/スキャンEメール	
設定時のエラー.....	107
サーバスキャン/スキャンEメール	
実行時のトラブル.....	108
パスワードを忘れた時の対処方法.....	113
ソフトウェアの再インストール.....	114
ソフトウェアの削除.....	114
最新のソフトウェア入手方法.....	115
サポートのご案内.....	116
エプソンFAXインフォメーション.....	116
エプソンインフォメーションセンター.....	116
インターネットサービス.....	116
パソコンスクール.....	117
保守サービスのご案内.....	117

付録

arpコマンドでのIPアドレス設定	120
Webブラウザでのネットワーク設定.....	122
基本仕様.....	125
用語解説.....	127
索引.....	131

各部の名称とはたらき



本文中のマークと表記について

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、スキャナ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。必ずお読みください。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system日本語版	_____	の表記について
Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版	_____	
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0日本語版	_____	
Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版	_____	
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版	_____	
Microsoft® Windows® XP Professional operating system日本語版	_____	
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system日本語版	_____	
Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition日本語版	_____	
Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition日本語版	_____	

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP、Windows Server 2003を総称する場合は [Windows]、複数のWindowsを併記する場合は [Windows95/NT] のように、Windowsの表記を省略することがあります。

PC-9801/9821シリーズおよびPC98-NXシリーズは日本電気株式会社の商標です。IBM PC、DOS/V、IBMはInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。

Appleの名称、ロゴ、Macintosh、PowerMacintosh、Mac、iMac、Power Book、漢字Talk、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、ColorSync、Open TransportおよびTrueTypeはApple Computer, Inc.の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、WindowsNTおよびInternet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

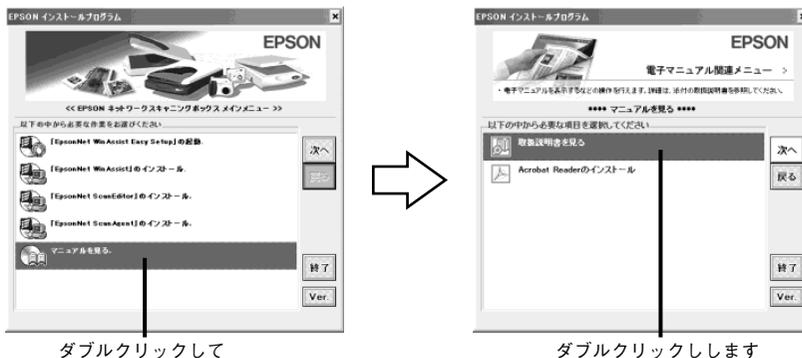
"This product Includes software developed by the University of California, Berkeley, and Its contributors."

PDF版取扱説明書のご案内

付属のソフトウェアCD-ROMに、本書のPDF（Portable Document Format）版が収録されています。

PDFの開き方(Windows)

本製品に付属のソフトウェアCD-ROMを、コンピュータにセットします。
左の画面が自動的に表示されますので、[マニュアルを見る]をダブルクリックし、[取扱説明書を見る]をダブルクリックします。



コンピュータにAdobe Acrobat(Reader)がインストールされていない場合は、右の画面で [Acrobat Readerのインストール] をダブルクリックしてインストールしてください。

PDFの開き方(Macintosh)

本製品に付属のソフトウェアCD-ROMを、Macintoshにセットします。
CD-ROM内の [マニュアル] - [PDF] - [ESNSB2 取扱説明書] アイコンをダブルクリックします。



ポイント

MacintoshにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、[Reader]フォルダをダブルクリックして開き、Acrobat Readerをインストールしてください。



ESNSB2の機能と仕組み

ここでは、ESNSB2の機能と、その仕組みや動作環境について説明しています。

● ネットワークスキャン機能.....	12
● サーバスキャン機能 （コピーユニット接続時）	13
● スキャンEメール機能 （コピーユニット接続時）	16
● 動作環境	19

ネットワークスキャン機能

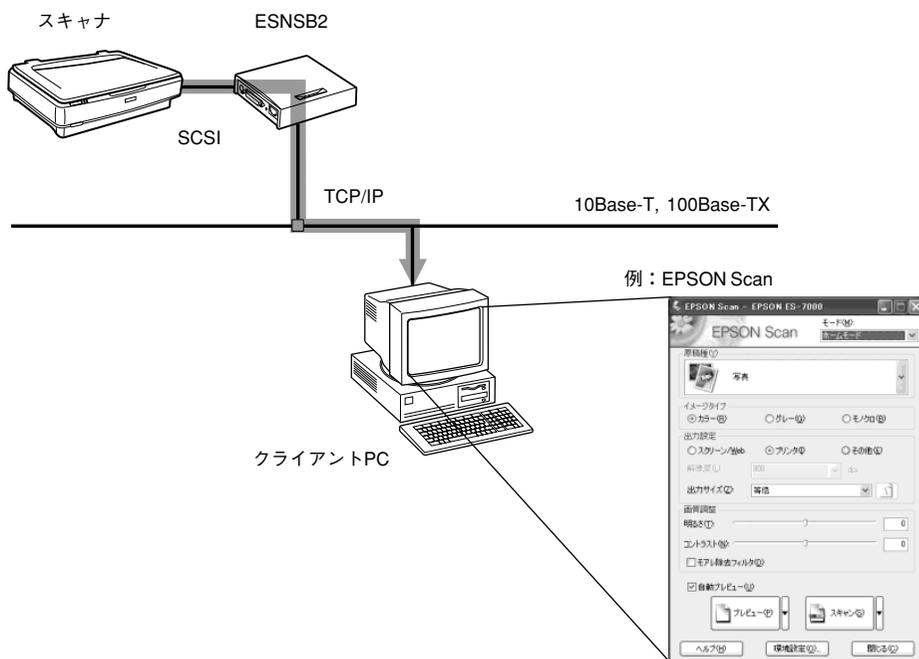
ネットワークスキャンの仕組みについて説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

ネットワークスキャンの仕組み

ESNSB2を、スキャナおよびネットワークに接続します。

スキャナを利用したいPCには次のソフトウェアをインストールし、これらを使用して画像を取り込みます。

- スキャナに付属しているスキャナドライバ
- 必要に応じ、取り込んだ画像を表示/加工するためのアプリケーションソフト



既にネットワーク環境を構築済みの場合は、前記のソフトウェアをインストールするだけでご利用いただけます。またネットワーク環境が未構築の場合でも、サーバ専用機の導入などの複雑な作業は必要ありませんので、比較的簡単に導入いただけます（ただしTCP/IPの設定などが必要になります。詳細は下記をご覧ください）。

🔗 「クライアントPCのTCP/IP設定」 38 ページ



ポイント

- スキャナを利用するPCの表記について
本書では、クライアントPCと表記します。
- スキャナドライバの表記について
本書では、EPSON Scan、EPSON TWAIN Pro Network、EPSON TWAIN HS Networkを総称して「スキャナドライバ」と表記します。
- ネットワークスキャンの動作環境については、下記をご覧ください。
🔗 「動作環境」 19 ページ

サーバスキャン機能(コピーユニット接続時)

サーバスキャンの仕組みについて説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

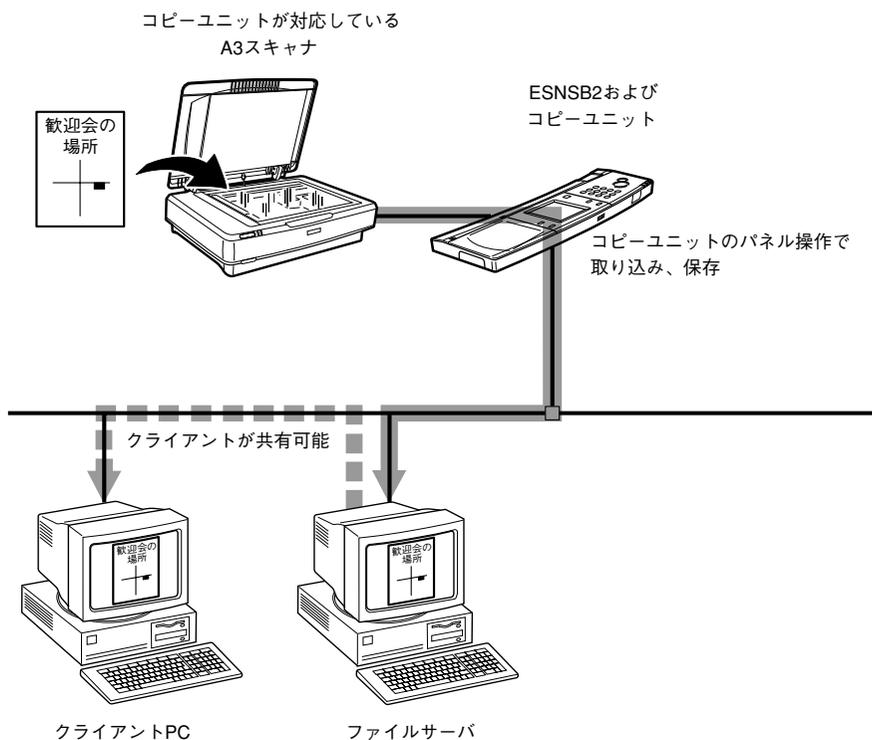
サーバスキャンの概要

サーバスキャンは、ESNSB2をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応しているA3スキャナに接続してお使いの場合のみ、利用できます。ESNSB2とスキャナだけでは利用できません。

コピーユニットのパネル操作によって画像を取り込み、ファイルサーバに保存する機能です。スキャナドライバを使用しないため、

- 原稿を簡単な操作でデータ化し、自動的に保存できます。またネットワーク上での共有が可能です。特に文書を電子ファイル化する作業に向いています。
- プロファイル（取り込み設定ファイル）を前もって作成しておく必要があります。
- 画質は自動調整機能に依存します。また、透過原稿ユニットは使用できません。写真の取り込みで狙い通りの画質を得たい場合や、透過原稿ユニットを使用してフィルムを取り込みたい場合は、スキャナドライバを使用して取り込んでください。

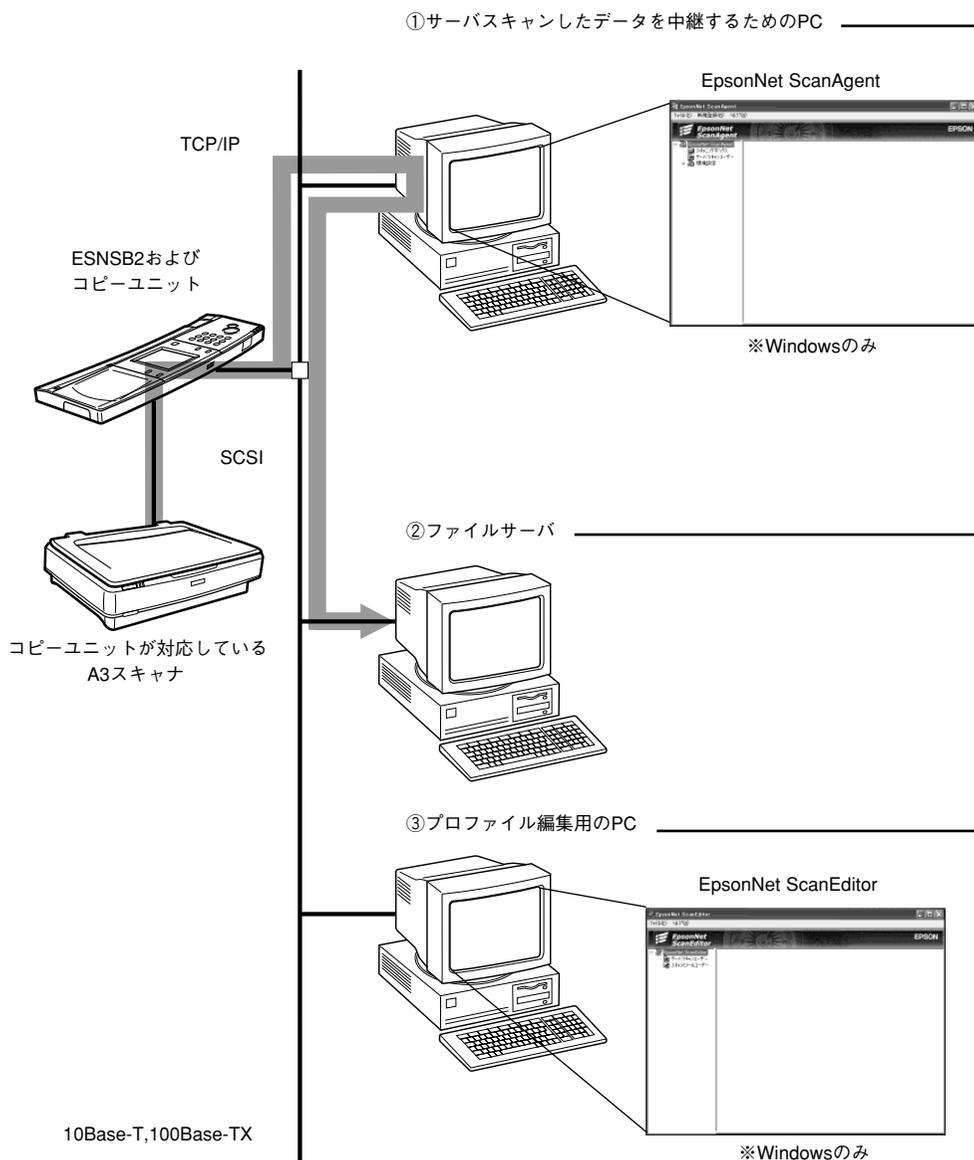
詳しい仕組みについては、次ページ以降で説明しています。



サーバスキャンを行うためのネットワーク構成

サーバスキャンを行うには、次の機器をESNSB2（スキャナ）と同一セグメント上に構成する必要があります。

- ①サーバスキャンしたデータを中継するためのPC
- ②ファイルサーバ
- ③プロファイル編集用のPC（クライアントPC）

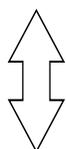


①サーバスキャンしたデータを中継するためのPC

このPCには、本製品に付属のソフトウェア [EpsonNet ScanAgent] をインストールします。本書では、このPCのことを [エージェントPC] と呼びます。

このPCは、ファイルサーバと同一のPCでも構いません。同一のPCにすると、次のメリットがあります。

- ・ネットワーク構成を簡略化できますので、取り込み速度が速くなります。また、ネットワークの負荷が軽くなります。
- ・サーバスキャン設定時および実行時は、ファイルサーバ/エージェントPCの両方がネットワークにログオン（参加）していないと、設定不可またはエラーになります。同一のPCであれば、このような問題は起こりません。



同一のPCでもOK。

②ファイルサーバ

取り込んだ画像を保存するためのサーバです。

③プロファイル編集用のPC（クライアントPC）

プロファイルの作成に利用します。プロファイルとは、原稿サイズ・色数・解像度などの取り込み設定や、保存先のフォルダ・ファイル形式などを記述しておくファイルのことです。

このPCには、本製品に付属のソフトウェア [EpsonNet ScanEditor] をインストールします。

サーバスキャンでは、EpsonNet ScanEditorで作成したプロファイルの内容に従って画像の取り込み・保存が実行されます。

プロファイルはEpsonNet ScanAgentでも編集できます。ユーザー全員分のプロファイルを管理者が編集する場合は、③プロファイル編集用のPCは不要です（各クライアントPCにEpsonNet ScanEditorをインストールする必要はありません）。

※それぞれの動作環境については、下記をご覧ください。

📄「動作環境」19 ページ

スキャンEメール機能(コピーユニット接続時)

スキャンEメールの仕組みについて説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

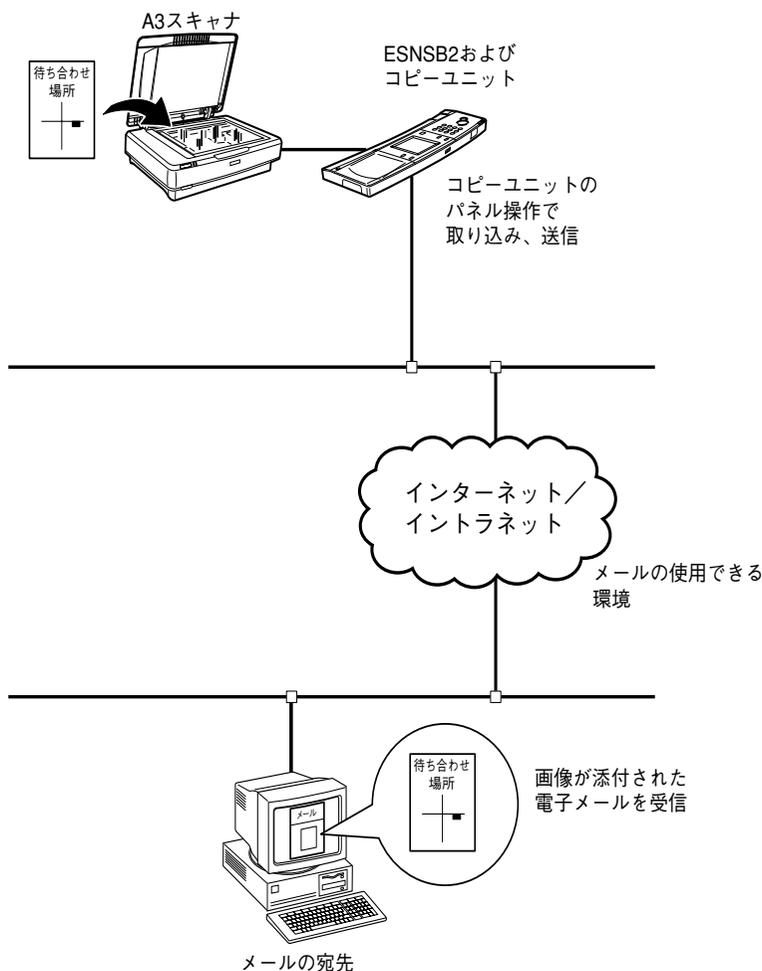
スキャンEメールの概要

スキャンEメールは、ESNSB2をコピーユニット (CS-7000) および、CS-7000が対応しているA3スキャナに接続してお使いの場合のみ、利用できます。ESNSB2とスキャナだけでは利用できません。

コピーユニットのパネル操作によって画像を取り込み、電子メールに添付して送信する機能です。スキャナドライバとメールクライアントを使用しないため、

- 原稿を簡単な操作でデータ化し、メール送信できます。
- 送信/受信メールサーバのアドレス、宛先や送信者のメールアドレス、メールの件名や本文などを前もって設定しておく必要があります。
- 画質は自動調整機能に依存します。また、透過原稿ユニットは使用できません。

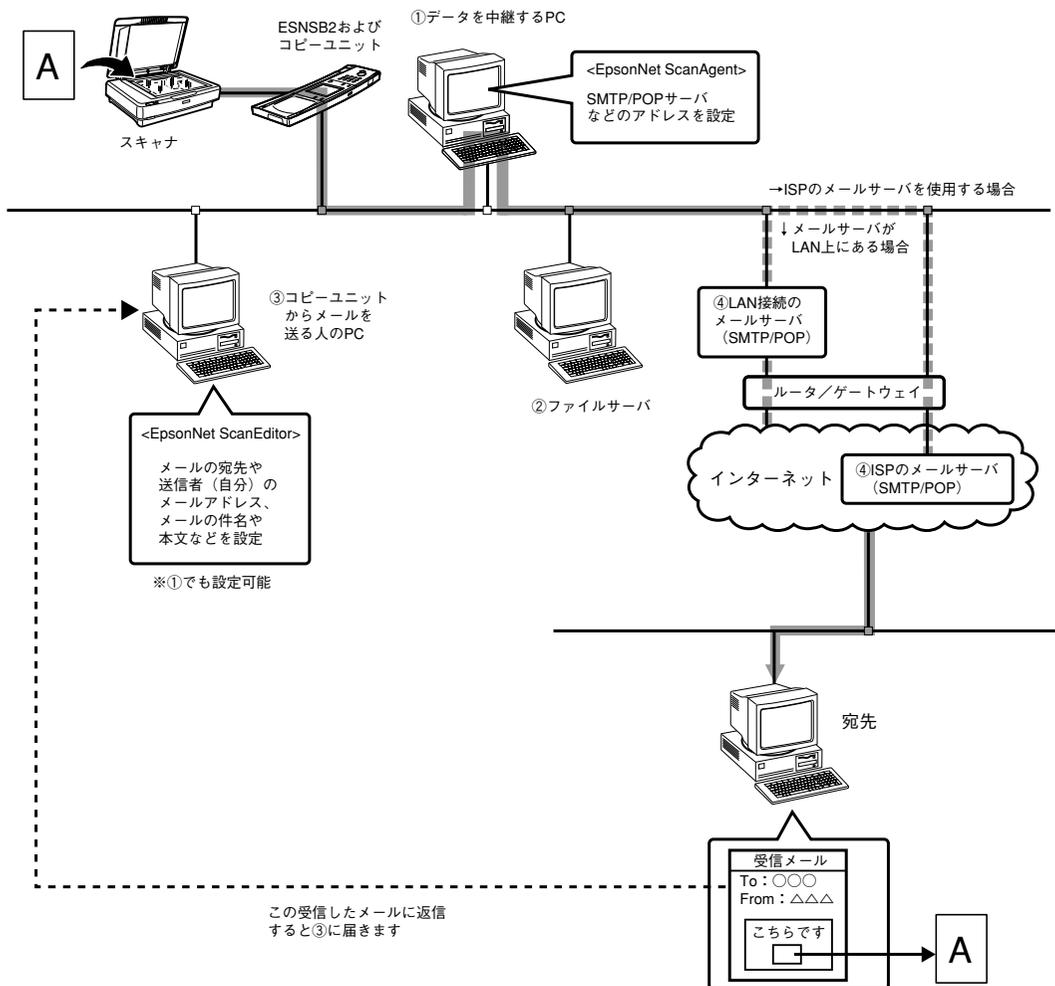
詳しい仕組みについては、次ページ以降で説明しています。



スキャンEメールを行うためのネットワーク構成

スキャンEメールを行うには、メールの送受信ができる環境が必要です。また、①～③の機器をESNSB2（スキャナ）と同一セグメント上に構成する必要があります。

- ①スキャンしたデータをメールサーバに中継するためのPC
- ②ファイルサーバ
- ③送信者や宛先のメールアドレス、メールの件名や本文を作成するためのPC



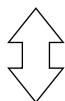
①スキャンしたデータをメールサーバに中継するためのPC

このPCには、本製品に付属のソフトウェア [EpsonNet ScanAgent] をインストールします。本書では、このPCのことを「エージェントPC」と呼びます。

このPCは、②ファイルサーバと同一のPCでも構いません。同一のPC にすると、次のメリットがあります。

- ネットワーク構成を簡略化できますので、取り込み速度が速くなります。また、ネットワークの負荷が軽くなります。
- スキャンEメール設定時および実行時は、ファイルサーバ/エージェントPC の両方がネットワークにログオン（参加）していないと、設定不可またはエラーになります。同一のPC であれば、このような問題は起こりません。

メールサーバがLAN上にある場合は、EpsonNet ScanAgent専用のメールアカウントが必要です。メールサーバの管理者にご依頼ください。



同一のPCでもOK。

②ファイルサーバ

①または③で設定した情報を保存するためのサーバです。

③宛先や送信者のメールアドレス、メールの件名や本文を作成するためのPC

コピーユニットでメールを送る人のPCです。このPCには、本製品に付属のソフトウェア [EpsonNet ScanEditor] をインストールします。本書では、このPCのことを「クライアントPC」と呼びます。

③のEpsonNet ScanEditorで設定できる内容は、①のEpsonNet ScanAgentでも設定できます。そのため、管理者がEpsonNet ScanAgentを使用して送信者全員分の設定を行う場合、③は不要です。

④メールサーバ

LAN上のSMTP/POPサーバまたは、ISP（インターネットサービスプロバイダ）のSMTP/POPサーバどちらでも構いません。

※それぞれの動作環境については、下記をご覧ください。

🔗「動作環境」19 ページ

動作環境

ネットワークスキャン/サーバスキャン/スキャンEメール共通

ネットワーク環境

ネットワーク環境の説明については、ネットワーク管理者の方がお読みください。

- ESNSB2、クライアントPCおよびエージェントPCはTCP/IP プロトコルで通信するため、それぞれにIPアドレスが必要です。
- ESNSB2 は、RARP・BOOTP・DHCPに対応しています。ただし、これらのプロトコルを使用するとIPアドレスが自動的に割り当てられるため、ESNSB2に割り当てられたIPアドレスをクライアントPCでその都度指定し直す必要があります。また、エージェントPCでサーバスキャン/スキャンEメールの設定をし直す必要があります。そのため、ESNSB2はIPアドレスを自動取得せず、個別に設定することを強くお勧めします。
- エージェントPCのIPアドレスも、個別に設定することを強くお勧めします。
- ESNSB2は10Base-T/100Base-TX自動切替ですので、どちらの形態でも接続可能です。しかしネットワークが高速であるほど画像取り込みが高速になるため、100Base-TXの高速ネットワークおよび、ネットワーク負荷の軽い環境での使用をお勧めします。
なお、100Base-TX 専用HUBを使用する場合は、接続されるすべての機器が100Base-TX対応であることを確認してください。
- 高解像度の画像データを取り込むと、膨大な量のデータがネットワーク上を流れます。必要に応じて、スキャナを共有するPCのセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。データ容量の目安については、スキャナに付属している取扱説明書をご覧ください。
- ネットワークスキャンの場合、ESNSB2（スキャナ）とクライアントPCは、同一セグメント内での使用をお勧めします。（セグメントを越えて利用することもできますが、ネットワーク環境やデータ容量によってはネットワークの負荷が増加し、不具合が起こる可能性があります）
- サーバスキャンおよびスキャンEメールの場合、ESNSB2（スキャナ）、ファイルサーバ、エージェントPC およびクライアントPCは、同一セグメント内に構成してください。これらをセグメントを越えて構成することはできません。

ネットワークスキャンのみ

対応スキャナ	EPSON ES シリーズのスキャナ
スキャナドライバ	次のスキャナドライバを使用できます。スキャナによって付属しているものが異なります。 <ul style="list-style-type: none">• ESシリーズ用EPSON Scan (GTシリーズ用のEPSON Scanは使用できません)• EPSON TWAIN Pro Network Rev.1.7a 以降*• EPSON TWAIN HS Network(リビジョン制限なし)*

* EPSON Scanの最新版を入手することをお勧めします。

 「最新のソフトウェア入手方法」 115 ページ



ポイント

スキャナドライバの動作環境については、スキャナに付属の取扱説明書でご確認ください。リビジョンによって対応OSが異なりますのでご注意ください。

サーバスキャン/スキャンEメール共通

システム構成

サーバスキャン/スキャンEメール対応のコピーユニットおよび、そのコピーユニットが対応しているA3スキャナと接続すること。

ファイルサーバの動作環境

対応OS	<ul style="list-style-type: none">• Windows 95(OSR2以降)/98/Me*• Windows NT4.0 Server/Workstation• Windows 2000 Server/Professional• Windows XP Professional/Home Edition• Windows Server 2003 Enterprise Edition/Standard Edition
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

* 「Microsoftネットワーク共有サービス」を組み込む必要があります。

 「ネットワーク設定」 44 ページ

EpsonNet ScanAgent (エージェントPC)の動作環境

CPU	Pentium II 233MHz以上 (500MHz以上を推奨)
OS	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 95 (OSR2以降)/98SE/Me* • Windows NT4.0 Server/Workstation (サービスパック6a以上) • Windows 2000 Server/Professional (サービスパック3以上) • Windows XP Professional/Home Edition (サービスパック1以上) • Windows Server 2003 Enterprise Edition/Standard Edition
表示	解像度:800×600ドット以上 色数:256色以上
メモリ	128MB以上 (256MB以上を推奨)
ハードディスク	1GB以上を推奨 (スキャンした画像の一時記憶領域として、エージェントPCのハードディスクを使用するため)
プロトコル	TCP/IP プロトコル (IP アドレスが設定されていること)

* 「Microsoftネットワーククライアント」を組み込む必要があります。

 「ネットワーク設定」 44 ページ

 ポイント	スキャンEメールでLAN上のSMTP/POPサーバを経由する場合は、EpsonNet ScanAgent専用のメールアドレスを登録してください。メールサーバの管理者にご依頼ください。
-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

EpsonNet ScanEditor (クライアントPC)の動作環境

CPU	Pentium以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> • Windows 95 (OSR2以降)/98SE/Me* • Windows NT4.0 Workstation (サービスパック6a以上) • Windows 2000 Professional (サービスパック3以上) • Windows XP Professional/Home Edition (サービスパック1以上)
表示	解像度:800×600ドット以上 色数:65,000色以上
メモリ	16MB以上
プロトコル	TCP/IP プロトコル (IP アドレスが設定されていること)

* 「Microsoftネットワーククライアント」を組み込む必要があります。

 「ネットワーク設定」 44 ページ

スキャンEメールのみ

メール環境

下記どちらかのメールサーバが接続されていて、メールの送受信ができる環境であること。暗号化メールには対応していません。

- LAN上のSMTP/POPサーバ
- ISP（インターネットサービスプロバイダ）のSMTP/POPサーバ

メールアカウント

- LAN上のSMTP/POPサーバを経由する場合は、EpsonNet ScanAgent専用のメールアドレスを登録してください。メールサーバの管理者にご依頼ください。
- ISPのSMTP/POPサーバを経由する場合、EpsonNet ScanAgent専用のメールアドレスは不要です。
- メールサーバの接続方法がLAN/ISPどちらの場合も、コピーユニットからメールを送る方のアカウントが必要です。

メールの容量について

初期設定では、1メールあたりの最大容量が1MBに設定されています。

複数ページをスキャンした場合に、メールのサイズがこの設定値を超える場合は、ページを分割して送信します。ただし、1つのページは分割しません。1ページのデータが設定値を超える場合は、送信できません（送信者に対してメールで通知します）。

下記のページに、画像データ容量の目安を記載していますので参考にしてください。

 「画像データ容量の目安」 94 ページ

ESNSB2のセットアップ

ここでは、ESNSB2のセットアップ手順を説明しています。

● 設置上のご注意	24
● ESNSB2 の接続.....	25
● ESNSB2 のネットワーク設定	30
● ダイヤルアップルータ使用時のご注意	35

設置上のご注意



本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所



本機は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
湿度変化の激しい場所	火気のある場所	水に濡れやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房器具に近い場所	震動のある場所



- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになる時は、静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。



ESNSB2の接続

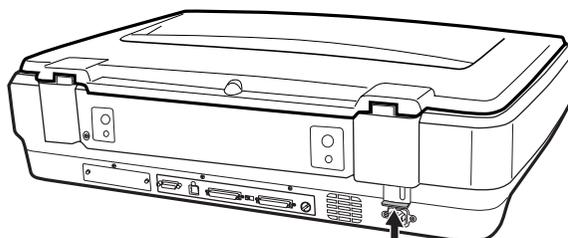
スキャナの準備

スキャナをESNSB2と接続する前に、次の作業を行ってください。

スキャナを既に使用している場合、この作業は不要です。次ページに進んでください。

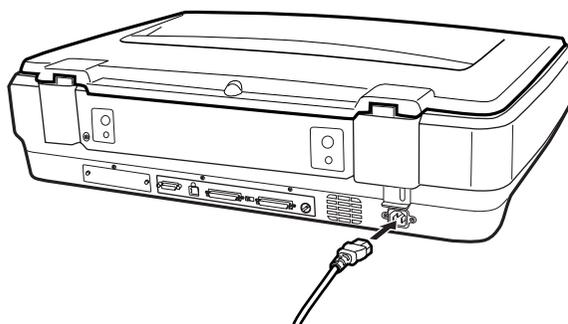
1 輸送用固定ノブまたはレバーを解除

図は ES-7000H の例です。詳しい手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。



2 電源に接続

図は ES-7000H の例です。詳しい手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。



スキャナとネットワークへの接続

ES-8000をお使いの方へ

本製品に付属しているSCSIケーブルは、D-Sub25ピン×50ピン高密度ピンタイプ（シールド型）です。ES-8000のSCSIコネクタはアンフェノール50ピン（フルピッチ）ですので、ES-8000と接続する場合は、ES-8000に付属しているSCSIケーブルを使用してください。

コピーユニットと組み合わせてお使いの方へ

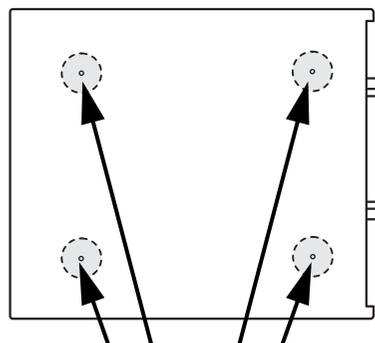
ESNSB2をコピーユニットと組み合わせてお使いの場合、コピーユニットへの取り付け方法については、コピーユニットの取扱説明書をご覧ください。

ゴム足の貼り付け

スキャナにESNSB2のみ接続して使用する場合（コピーユニットと組み合わせない場合）は、ESNSB2の底面に付属のゴム足を貼り付けてください。

ゴム足を貼り付けることにより、設置が安定します。

コピーユニットと組み合わせてお使いの場合、ゴム足は貼り付けしないでください。



ゴム足の中央を、底面の目印（点）に合わせて貼り付けます

スキャナとの接続



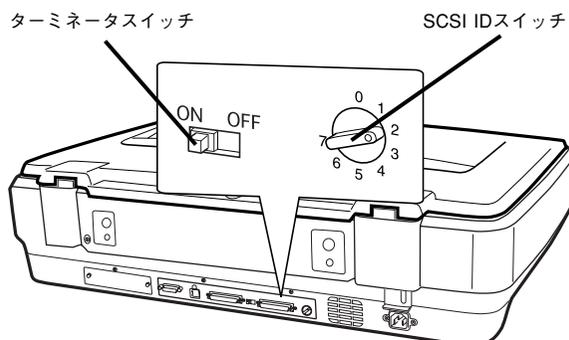
接続する前に、スキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。



スキャナには、コンピュータや他のSCSI機器などをSCSI接続（デジチェーン）しないでください。これらを接続すると正常に動作しません。
なお、USBまたはIEEE1394接続であれば、スキャナにコンピュータも接続することができます。ただし、取り込み動作を同時に行うことはできません。

- 1 スキャナのSCSI IDを0~6のいずれかに、ターミネータをオンに設定します。
工場出荷時は、SCSI IDは2、ターミネータはオンに設定されています。設定を変えていない場合、そのまま接続して使用できます。
設定方法の詳細は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

図はES-7000Hの例です。



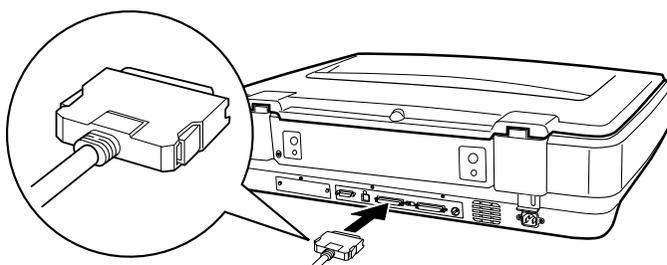
ポイント

ESNSB2は、SCSI ID 7を使用しています。そのため、スキャナのSCSI IDを7に設定すると正常に動作しません。

- 2 スキャナ背面のSCSIコネクタに、付属のSCSIケーブル（50ピン高密度ピンタイプ側）を接続します。

カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。

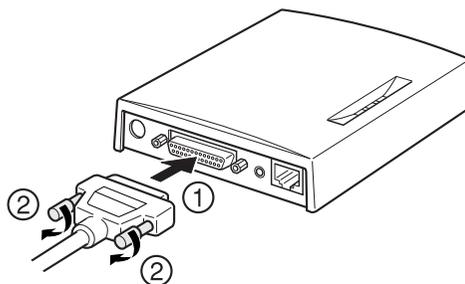
図はES-7000Hの例です。



ポイント

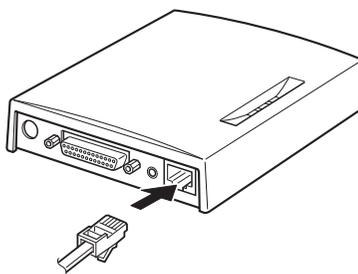
ES-9000Hをお使いの場合は、50ピンコネクタに接続してください(ESNSB2は、Wide SCSIには対応していません)。また、SCSI データバス幅切替スイッチをNの位置にしてください。

- 3 SCSIケーブルのもう一方（D-Sub25ピン側）をESNSB2に接続し、コネクタ両脇のネジで固定します。



ネットワークへの接続

- 4 ESNSB2のモジュージャックに、ネットワークケーブルを接続します。カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。



ポイント

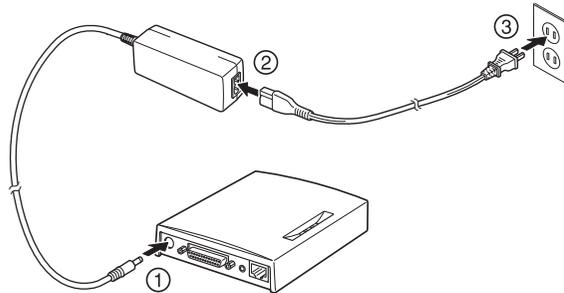
ネットワークケーブルは、シールドタイプをお使いください。

ACアダプタの接続

⚠ 注意

- 巻頭の「安全にお使いいただくために」を参照の上、正しくお取り扱いください。
- 本製品を長い間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 1 コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、付属のACアダプタを接続します。
 図中の番号順に、確実に接続してください。
 ACアダプタは、必ず付属品をお使いください。



電源の投入

- 2 スキャナのOPERATEまたはPOWERスイッチを押して電源をオンにします。
 図はES-7000Hの例です。



スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2の電源も連動してオンになり、ESNSB2のランプの状態が次のように変わっていきます。Readyランプの点滅が点灯が変わったら、準備完了です。

ESNSB2および スキャナの状態	ランプの状態		
	Ready	Network	Error
電源投入直後	点灯	点灯	点灯
↓	↓	↓	↓
準備中	定期的に点滅	定期的に点滅	消灯
↓	↓	↓	↓
準備完了 (取り込み動作可能)	点灯	不規則に点滅 (データ送受信中の状態)	消灯



ポイント

- スキャナの電源をオンにしてもESNSB2の電源がオンにならない場合は、ACアダプタおよびSCSIケーブルが確実に接続されているか確認してください。
- Errorランプが消灯しない場合は、下記を参照して対処してください。
 「ランプ表示」105ページ

ESNSB2のネットワーク設定

ESNSB2のネットワーク設定は、ネットワーク上のコンピュータから、付属の設定ユーティリティ [EpsonNet WinAssist/MacAssist EasySetup] を使用して行います。

設定で使用するコンピュータのネットワーク設定

Windowsの場合

EpsonNet WinAssistをインストールするPCで、前もってTCP/IPを設定します。OSによっては、TCP/IP プロトコルを組み込む必要があります。

- 設定済みの場合は、次ページに進んでください。
- これから設定する場合、設定手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

Macintosh(OS 8.1～9.x)の場合

EpsonNet MacAssistをインストールするMacintoshで、AppleTalkを設定します。設定済みの場合は、次ページに進んでください。

- 1 コントロールパネルの [AppleTalk] をダブルクリックして開きます。



- 2 経由先でEthernetを選択します。
これで設定は終了です。



ESNSB2のネットワーク設定

付属のユーティリティ「EpsonNet WinAssist/MacAssist EasySetup」を使用して、ESNSB2にIPアドレスを設定します。



ポイント

- サブネットマスクやデフォルトゲートウェイを設定したい場合(他のセグメントに接続されているネットワークスキャニングカードを設定する場合は、WinAssist/MacAssistをインストールして、設定してください。
- ネットワークスキャニングカードの設定を行うコンピュータは、設定するスキャナと同一セグメントのネットワーク上にあるコンピュータであれば、どのコンピュータでもかまいません。

① 付属のソフトウェアCD-ROMを、コンピュータにセットします。

② 「EpsonNetソフトウェア・メインメニュー」を表示させます。

Windows

ソフトウェア CD-ROM をセットすると自動的にメニューが表示されます。
メニューが表示されない場合は、[マイコンピュータ] 内の [CD-ROM] のアイコンをダブルクリックしてください。

Mac OS 8.1~9.x

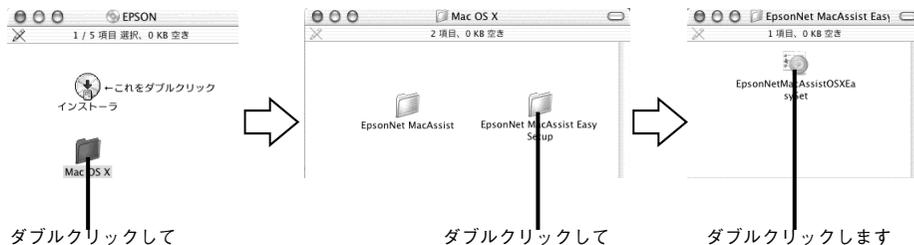
ソフトウェア CD-ROM 内の [インストール] アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

Mac OS X(10.2~)

ソフトウェアCD-ROM内の [Mac OS X] — [EpsonNet MacAssist EasySetup] — [EpsonNetMacAssistOSXEa] をダブルクリックします。この後手順④へ進みます。



- 3 「[EpsonNet WinAssist EasySetup] の起動」(Macintoshの場合は、[EpsonNet MacAssist EasySetup]) を起動します。画面は、Windows の場合です。



①クリックして ②クリックします

- 4 「次へ」 ボタンをクリックします。画面は、Windows のものを使用していますが、Macintosh も手順は同様です。



↓ ①クリックして



②クリックします

- 5 一覧から設定するスキャナ (ESNSB2) を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。スキャナが表示されない場合は、ケーブルが確実に接続されているか、スキャナの電源がオンになっているか確認してください。



①クリックして ②クリックします



ポイント

- 同じ機種のスキャナが複数台接続されている場合は、MACアドレスで判別します。MACアドレスは、ESNSB2の底面のシールでご確認いただけます。
- [モデル名]が表示されずにIPアドレスに[NONE]と表示される場合も設定は行えます。MACアドレスで判別してください。

- 6 IPアドレスを設定します。スキャナ (ESNSB2) に割り振るIPアドレスを入力します。



①入力して ②クリックします



ポイント

- IPアドレスの取得方法は、[手動]を選択してください。[自動]を選択すると、スキャナの電源をオンにするたびにESNSB2のIPアドレスが変更されるため、スキャンングを実行するコンピュータ側(EPSON Scan)で都度指定し直す必要があります。
- 工場出荷時のIPアドレスは、[192.168.192.168]に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせて、必ずIPアドレスを設定してください。

- 7 内容を確認して設定情報を送信します。
設定には、しばらく時間がかかります。最低3分以上は、スキャナの電源をオフにしないでください。



① クリックします



ポイント

パスワードの要求画面が表示された場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。工場出荷時の設定では、パスワードは設定されていません。

- 8 [完了] ボタンをクリックして、設定を完了します。
以上で、ESNSB2 のアドレス設定は終了です。



① クリックします

ダイヤルアップルータ使用時のご注意

ここでは、ダイヤルアップルータを使用している場合の、設定の注意点を説明します。

DHCP機能使用時の注意

DHCP 機能をお使いの場合、ESNSB2のIP アドレスをDHCP 機能で割り当てると、スキャナ (ESNSB2) の電源を入れるたびに、クライアントPC上でアドレスの設定を変更しなければなりません。

そこで、ESNSB2には次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

方法1 : ESNSB2に、スコープ (クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲) の範囲外である IPアドレスを、手動で設定する。

方法2 : ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、ESNSB2を特定する。

方法3 : ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。



ポイント

DHCP機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などについては、ダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

Webブラウザの設定についての注意

EpsonNet WebAssist を使う場合、Webブラウザはプロキシサーバを使用しない設定にしてください。ここでは Internet Explorer を例に説明します。

- 1 デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。



- 2 表示される画面で [接続] タブをクリックし、[LANの設定] ボタンをクリックします。
- 3 [プロキシサーバーを使用する] または [プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス] のチェックを外します。
[OK] ボタンをクリックして、設定を保存してください。



ポイント

[プロキシサーバーを使用する] または、[プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス] にチェックが付いていると、EpsonNet WebAssistを起動できません。

ネットワークスキヤンの仕方

ここでは、ネットワーク経由での取り込み手順の概要を説明しています。

● ネットワークスキヤンの準備	38
● ネットワークスキヤンの仕方	40

ネットワークスキャンの準備

クライアントPCのTCP/IP設定

スキャナを利用するPCで、各種アドレスを設定します。OSによっては、TCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。

- 設定済みの場合は、次の手順に進んでください。
- これから設定する場合、設定手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアのインストール

クライアントPCに、スキャナに付属しているスキャナドライバをインストールします。次の手順に従ってください。

スキャナとESNSB2の準備

スキャナドライバをインストールした後、ESNSB2と通信して接続の設定とテストを行います。そのため、スキャナドライバをインストールする前に、スキャナ/ESNSB2側で次の準備をしておいてください。

- 1 スキャナの電源をオンにします。
スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2の電源も連動してオンになります。

スキャナドライバのインストールとネットワークスキャナの指定

- 2 クライアントPCにスキャナドライバをインストールします。
インストール手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

 スキャナドライバのインストール中、次の画面が表示され、ここでネットワークスキャナの指定とテストを行います（画面はWindows版のEPSON Scanでの例）。

ポイント

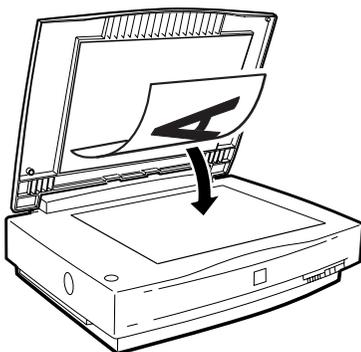


[ネットワークスキャナの指定]ボックスには、ESNSB2のIPアドレスを入力してください。画面は例です。

ネットワークスキャンの仕方

スキャナとESNSB2の準備

- 1 スキャナの電源をオンにします。
スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2の電源も連動してオンになります。
- 2 スキャナに原稿をセットします。



画像の取り込み

スキャナドライバを使用して、画像を取り込みます。詳しくは、スキャナに付属の取扱説明書またはスキャナドライバのヘルプをご覧ください。

スキャナに付属のネットワークガイドに、スキャナサーバという言葉がある場合は、ESNSB2と読み替えてください。

サーバスキャン/スキャンEメール設定の前に

ここでは、サーバスキャン/スキャンEメールの新規設定前に必要な準備作業を説明しています。

● 設定前の準備の流れ	42
● ネットワーク設定	44
● 共有フォルダの作成	46

設定前の準備の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① スキャンEメールの場合で、メールサーバがLAN上にある場合は、メールサーバにEpsonNet ScanAgentのメールアカウントを登録

メールサーバの管理者に依頼して、EpsonNet ScanAgent専用のメールアカウントを登録してください。

ISP（インターネットサービスプロバイダ）のメールサーバを利用している場合は不要です。②に進んでください。



② ESNSB2をコピーユニットおよびA3スキャナと接続

サーバスキャン/スキャンEメールに対応しているコピーユニットの取扱説明書を参照し、ESNSB2をコピーユニットおよびA3スキャナに接続してください。

※ サーバスキャン/スキャンEメールは、ESNSB2をコピーユニットおよび、コピーユニットが対応しているA3スキャナに接続してお使いの場合のみ、利用できます。ESNSB2とスキャナだけでは利用できません。



③各PCでネットワーク設定

ファイルサーバ・エージェントPC・クライアントPCで、次の設定をします。

- IPアドレスの設定(ファイルサーバを除く)
 - 📄 スキャナに付属の取扱説明書
- OSがWindows95/98/Meの場合は、ネットワークソフトの組み込み
 - 📄 「ネットワークソフトの組み込み」44 ページこれらの設定は、ESNSB2・ファイルサーバ・エージェントPC・クライアントPCが通信するために必要です。



- 各PCでこれらの設定が済んでいる場合は、④に進んでください。
- 特に TCP/IP 設定では各種ネットワークアドレスなどの知識が必要なため、ネットワーク管理者の方が行うことをお勧めします。



④ファイルサーバに共有フォルダを作成

ファイルサーバに、共有フォルダをいくつか作成します。

📄 「共有フォルダの作成」46 ページ

ネットワーク設定

TCP/IP設定

エージェントPCとして利用するPC・クライアントPCでTCP/IP設定をしていない場合は、スキャナに付属の取扱説明書を参照して設定してください。

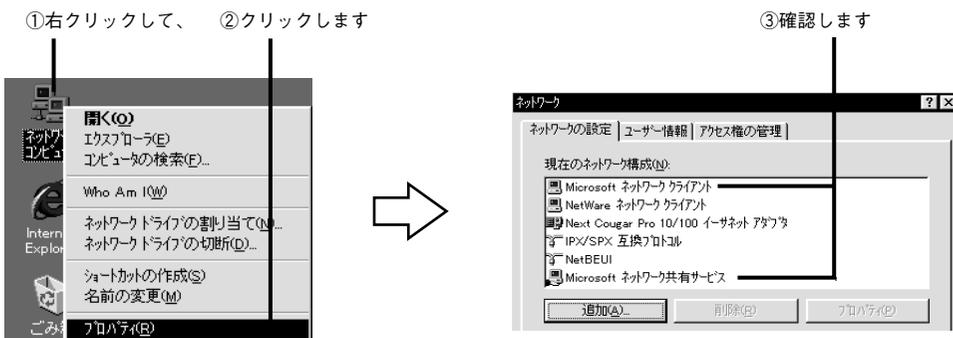
ネットワークソフトの組み込み

各PCのOSがWindows95/98/Meの場合は、下表に示すネットワークソフトを組み込む必要があります。

PC	必要なネットワークソフト
エージェントPCとして利用するPC	Microsoft ネットワーククライアント
クライアントPC	
ファイルサーバ	Microsoft ネットワーク共有サービス

以降、組み込み手順を共通で説明します。

- 1 [Microsoft ネットワーククライアント] または [Microsoft ネットワーク共有サービス] が組み込まれているか確認します。



- 2 [Microsoft ネットワーククライアント] または [Microsoft ネットワーク共有サービス] がない場合は、[追加] ボタンをクリックします。

ある場合は、設定の必要はありません。[キャンセル] ボタンをクリックし、下記のページに進んでください。

🔗「共有フォルダの作成」46 ページ

3 下の画面を参照し、インストールするネットワーク構成ファイル、製造元、ネットワークソフトを選択します。

< Microsoft ネットワーククライアントを組み込む場合 >

- ① [クライアント] をダブルクリックします。
- ② 製造元で [Microsoft] を選択し、
- ③ [Microsoft ネットワーククライアント] をダブルクリックします。



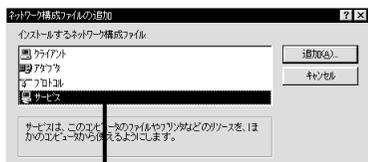
① ダブルクリックします



② クリックして、③ ダブルクリックします

< Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む場合 >

- ① [サービス] をダブルクリックします。
- ② 95/98 の場合は、製造元で [Microsoft] を選択し、
- ③ [Microsoft ネットワーク共有サービス] をダブルクリックします。



① ダブルクリックします



② クリックして、③ ダブルクリックします

4 [ネットワーク] 画面に戻るので、[OK] ボタンをクリックします。



これでネットワークソフトの組み込みは終了です。しばらくすると [再起動しますか?] と表示されるので、[はい] を選んでコンピュータを再起動してください。

共有フォルダの作成

まずファイルサーバ上に、次の共有フォルダを作成します。

サーバスキャンの場合：スキャナホームフォルダとサーバスキャンユーザーフォルダ

スキャンEメールの場合：スキャナホームフォルダとスキャンEメールユーザーフォルダ

スキャナホームフォルダ(サーバスキャン/スキャンEメール共通)

スキャナおよびユーザー情報を保存するフォルダを、スキャナホームフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。



ポイント

スキャナは30台まで登録可能です(ただし、エージェントPCに同時接続できるのは5台までです)。複数台登録する場合は、スキャナ1台につき1つのスキャナホームフォルダを作成してください。複数のスキャナでスキャナホームフォルダを共有することはできません。

サーバスキャンユーザーフォルダ(サーバスキャンの場合)

サーバスキャンしたデータおよび、プロファイル(取り込み設定ファイル)を保存するフォルダを、サーバスキャンユーザーフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。



ポイント

- ユーザーはスキャナ1台につき100人まで登録可能です(スキャナに接続するコピーユニットがCS-7000以外の場合は、30人までです)。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。
- スキャンEメールと同一ユーザーであっても、スキャンEメールユーザーフォルダとの共用はできません。別のフォルダを作成してください。

スキャンEメールユーザーフォルダ(スキャンEメールの場合)

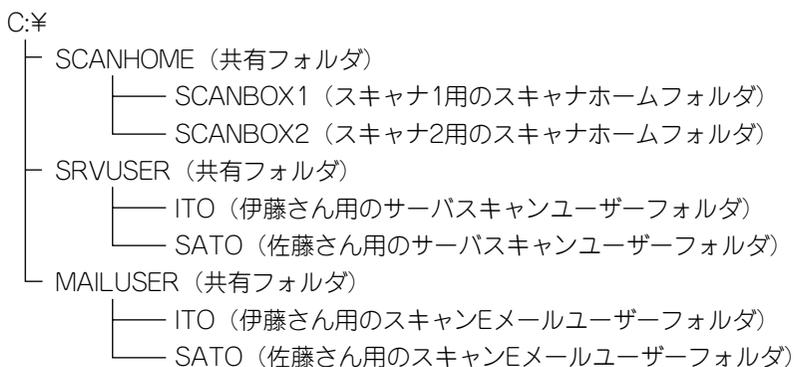
スキャンEメールユーザーおよび宛先のメールアドレス、メールの件名/本文などの情報を保存するフォルダを、スキャンEメールユーザーフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。



ポイント

- スキャンEメールユーザーは、スキャナ1台につき100人まで登録可能です。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。
- サーバスキャンと同一ユーザーであっても、サーバスキャンユーザーフォルダとの共用はできません。別のフォルダを作成してください。

< 共有フォルダの作成例 >



上記は、1つの共有フォルダの下層に、各スキャナ用のスキャナホームフォルダおよび、各ユーザー用のサーバスキャンユーザーフォルダ/スキャンEメールユーザーフォルダを作成する例です。

このような場合は、SCANHOMEフォルダ、SRVUSERフォルダおよび、MAILUSERフォルダを作成しておいてください。その下層フォルダは、EpsonNet ScanAgentで作成します。

共有フォルダ作成上のご注意

- 共有フォルダは、半角英数8文字以内で作成しておいてください。
また、半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ・ドライブ（ハードディスク）・フォルダの下層には作成しないでください。
なお、フォルダパスの階層は、24階層以内です。
- スキャナホームフォルダとサーバスキャンユーザーフォルダ／スキャンEメールユーザーフォルダは同一のファイルサーバ上に作成してください。ただし、フォルダは分けてください。兼用すると正常に動作しません。

× C:¥
└─ SRVSCAN (スキャナホームフォルダ／サーバスキャンユーザーフォルダ／スキャンEメールユーザーフォルダ兼用)

- サーバスキャンユーザーフォルダ／スキャンEメールユーザーフォルダはスキャナホームフォルダの下層にしないでください。下層に作成すると、何らかの理由でスキャナホームフォルダを削除する場合に、サーバスキャンユーザーフォルダ／スキャンEメールユーザーフォルダ内のデータまで削除されてしまいます。

× C:¥
└─ SCANHOME (スキャナホームフォルダ)
 └─ SRVUSER (サーバスキャンユーザーフォルダ)
 └─ MAILUSER (スキャンEメールユーザーフォルダ)

アクセスユーザーと必要なアクセス権

各フォルダには次のユーザーがアクセスします。必要なアクセス権は次の通りです。

フォルダ	アクセスユーザー	必要なアクセス権
スキャナホームフォルダ	エージェントPC	読み／書き
サーバスキャンユーザーフォルダ／スキャンEメールユーザーフォルダ	エージェントPC	読み／書き
	クライアントPC	読み／書き

次ページで、共有フォルダの作成方法とアクセス権の設定方法を説明しています。

共有フォルダの作成とアクセス権の設定方法

次の操作は、共有フォルダを作成するファイルサーバ上で行ってください。
なお、ファイルサーバとエージェントPCが同一のPCであっても、スキャナホームフォルダに対してこの設定が必要です。

1. エクスプローラなどを起動して、ファイルサーバ上に新規フォルダを作成します。
新規フォルダを作成するドライブ（ハードディスク）をクリックし、[ファイル]メニューから[新規作成] - [フォルダ] を選びます。
2. 新しいフォルダが作成されますので、名称を入力します。
半角英数8文字以内で作成しておいてください。
3. フォルダを右クリックし、[共有] を選びます。
4. 表示される画面で、共有とアクセス権の設定を行います。
Windows95/98/Me : [共有する] を選び、アクセスの種類で [フルアクセス] を選びます。
WindowsNT/2000 : [共有する] を選びます。デフォルトで全ユーザ (Everyone) にフルコントロールの権利が与えられます。
Windows XP /Server 2003 : 画面の指示に従ってファイル共有を有効にしてください。
5. [OK] ボタンをクリックします。これで共有フォルダが作成できました。

フォルダ構成メモ欄

この後は、設定する機能に応じて下記のどちらかに進んでください。

☞ 「サーバスキャンの設定」 51 ページ

☞ 「スキャンEメールの設定」 75 ページ

サーバスキャンの設定

ここでは、サーバスキャンの設定手順を説明しています。

●サーバスキャン設定の流れ.....	52
●ソフトウェアのインストール.....	56
●ネットワークスキャンングボックスの 新規登録	59
●サーバスキャンユーザーの新規登録	62
●プロファイルの編集	66

サーバスキャン設定の流れ

サーバスキャンの新規設定は、次の流れで行います。それぞれの参照先に従って設定を進めてください。本書では、次のケースを例に説明します。

ファイルサーバ名 : EPSON
スキャナホームフォルダパス : EPSON¥ SCANHOME¥ SCANBOX1
サーバスキャンユーザーフォルダパス: EPSON¥ SRVUSER¥ USER1

'EPSON'

├─ SCANHOME (前もって作成した共有フォルダ)
│ └─ SCANBOX1 (スキャナホームフォルダ)
└─ SRVUSER (前もって作成した共有フォルダ)
 └─ USER1 (サーバスキャンユーザーフォルダ)



ポイント

- 本書では、必須設定項目のみ説明します。そのほかの項目については、EpsonNet ScanAgentのヘルプをご覧ください。
- サーバスキャンの設定は、EpsonNet ScanAgent/EpsonNet ScanEditorの設定画面または、EpsonNet ScanAgent EasySetupのウィザード形式の設定画面で設定することができます。
- サーバスキャンの設定は、ネットワーク管理者の方が行ってください。ネットワーク管理者がいない場合は、コンピュータ (Windows) の扱いに慣れた方が行ってください。

EpsonNet ScanAgent/ScanEditorでの設定

- 1 EpsonNet ScanAgentおよび、EpsonNet ScanEditorをインストールします。
[📄 「ソフトウェアのインストール」 56 ページ](#)
- 2 EpsonNet ScanAgentで、ネットワークスキャンボックスを登録します。
ネットワークスキャンボックスは、30 台まで登録できます (同時に接続できるのは5 台までです)。
[📄 「ネットワークスキャンボックスの新規登録」 59 ページ](#)



ポイント

スキャンEメール用に登録済みの場合は不要です。次の手順に進んでください。

3 2で登録したネットワークスキャンボックスに、サーバスキャンを利用するユーザーを登録します。

ユーザーは、スキャナ 1 台につき 100 人まで登録できます(スキャナに接続するコピーユニットが CS-7000 以外の場合は、30 人までです)。

☞「サーバスキャンユーザーの新規登録」62 ページ



ポイント

スキャンEメール用に登録済みのユーザーであっても、サーバスキャン用に登録してください。

4 必要に応じて、プロファイル（色数、用紙サイズ、解像度などのスキャン条件設定）を編集します。

プロファイルは、EpsonNet ScanEditor でも編集できます。各ユーザーの PC に EpsonNet ScanEditor をインストールして、ユーザーが自分でプロファイルを編集する場合は、管理者がプロファイルを編集する必要はありません。なお、プロファイルはユーザーごとに編集する必要があります。

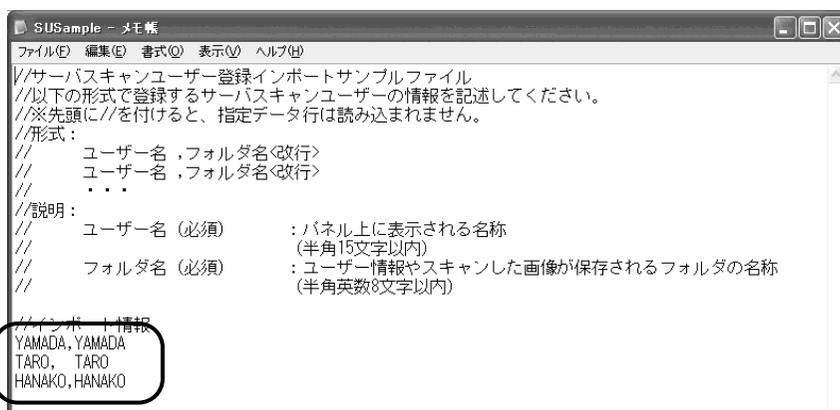
☞「プロファイルの編集」66 ページ



これで設定は終了です。コピーユニットの取扱説明書を参照してサーバスキャンを実行してください。

EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定

- 1 EpsonNet ScanAgent EasySetupをインストールします。
☞ 「ソフトウェアのインストール」 56 ページ
- 2 ユーザーを登録するためのインポートファイルを作成します。
インポートファイルは、以下の枠で示した書式（ユーザー名、フォルダ名<改行>）で、ユーザー名とユーザーの使用するフォルダ名を記述して、CSV形式で保存します。

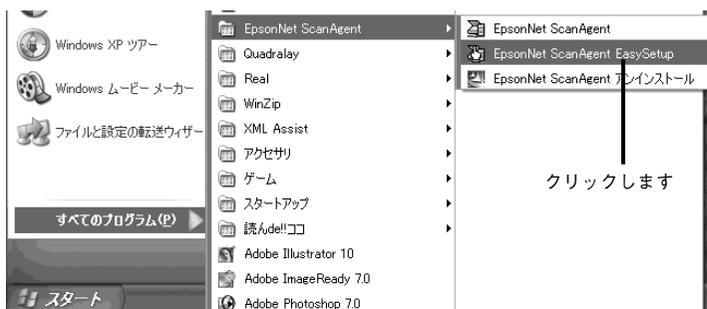


```
SUSample - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
//サーバスキャンユーザー登録インポートサンプルファイル
//以下の形式で登録するサーバスキャンユーザーの情報を記述してください。
//※先頭に//を付けると、指定データ行は読み込まれません。
//形式:
// ユーザー名 ,フォルダ名<改行>
// ユーザー名 ,フォルダ名<改行>
//   . . .
//説明:
// ユーザー名 (必須)      : パネル上に表示される名称
//                          (半角15文字以内)
// フォルダ名 (必須)      : ユーザー情報やスキャンした画像が保存されるフォルダの名称
//                          (半角英数8文字以内)
//インポート情報
YAMADA, YAMADA
TARO, TARO
HANAKO, HANAKO
```

 **ポイント**

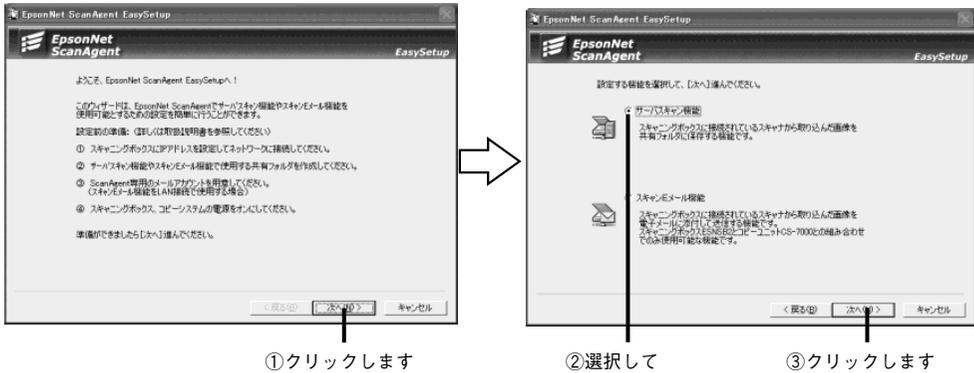
- 上記の画面は、EpsonNet ScanAgent EasySetupのサンプルです。ウィザード形式で設定を進める途中で表示させ、書き換えて利用することができます。
- // で記載されている部分はコメントになり、設定値としては無視されます。部署やグループ分けの備考を書いたりすることができます。

- 3 EpsonNet ScanAgent EasySetupを起動します。



4 [次へ] ボタンをクリックして、[サーバスキャン機能] を選択し [次へ] ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従って設定してください。



ポイント

- EpsonNet ScanAgent EasySetupの設定項目は、EpsonNet ScanAgent の設定画面からも設定することができます。
- 画面の説明をよく読んで設定してください。

ソフトウェアのインストール

EpsonNet ScanAgentのインストール



ポイント

EpsonNet ScanAgentは、同一ネットワーク上の複数台のPCにインストールしないでください。

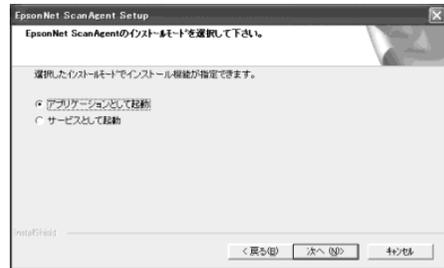
- 1 エージェントPCとして利用するPCを起動します。
OSがWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003の場合は、管理者 (Administrator) の権限でログオンしておいてください。
- 2 エージェントPCに、本製品に付属のソフトウェアCD-ROMをセットします。
右の画面が自動的に表示されます。
[EpsonNet ScanAgentのインストール]をダブルクリックします。(画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ]内のCD-ROMアイコンをダブルクリックします)
- 3 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。



ダブルクリックします

4 Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003の場合は、インストール中に右の画面が表示されます。

下表を参照し、「アプリケーションとして起動」か「サービスとして起動」を選択してください。



選択肢	説明
アプリケーションとして起動	EpsonNet ScanAgentを、スタートメニューから手動で起動します。
サービスとして起動	Windowsを起動すると、EpsonNet ScanAgentがサービスとして自動的に起動します(画面は表示されません)。手動で起動する必要がないため便利です。

サーバスキャンまたはスキャンEメールを実行するときは、EpsonNet ScanAgent を起動しておく必要があります。「サービスとして起動」を選択すると、手動で起動する必要がないため便利です。

ポイント

- 「サービスとして起動」を選択すると、インストール中に右の画面が表示されます。現在Windowsにログオンしているユーザー名が表示されますので、そのユーザーのパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
- サーバスキャンおよびスキャンEメールで使用する共有フォルダへのアクセス権があるアカウントであることを確認してください。ここで設定する情報は、[コントロールパネル]内の[管理ツール]-[サービス]で変更することができます(サービスの名称は「EpsonNet ScanAgent」です)。

ログインアカウント情報

サービス起動に使用するアカウント情報を入力して下さい。

ユーザー名

パスワード

パスワードの確認入力

5 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

インストールが終了し、下記に該当する場合は、EpsonNet ScanEditorのインストールに進みます。

- サーバスキャン用のプロファイル（色数・用紙サイズ・解像度などの設定ファイル）を各クライアントが編集する場合
- スキャンEメール用の、送信者や宛先のメールアドレス、メールの件名や本文を各クライアントが設定する場合

どちらの場合も、管理者がEpsonNet ScanAgentで設定することもできます。

EpsonNet ScanEditorをインストールしない場合（管理者がEpsonNet ScanAgentで設定する場合）は、下記へ進んでください。

🔗「ネットワークスキャンボックスの新規登録」59 ページ

EpsonNet ScanEditorのインストール

EpsonNet ScanEditorは、サーバスキャンおよびスキャンEメールを利用する全ユーザーのPCにインストールしてください。（管理者がEpsonNet ScanAgentで設定する場合を除く）



ポイント

Windows NT4.0/2000/XPにインストールする場合は、管理者(Administrator)の権限でログオンしておいてください。ただし、管理者が一度インストールした後は、他のユーザーもEpsonNet ScanEditorを使用することができます。

1

クライアントPCを起動します。

OSがWindowsNT/2000/XPの場合は、管理者(Administrator)の権限でログオンしておいてください。

2

クライアントPCに、本製品に付属のソフトウェアCD-ROMをセットします。

右の画面が自動的に表示されます。

[EpsonNet ScanEditor のインストール] をダブルクリックします。(画面が自動的に表示されない場合は、[マイコンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします)



ダブルクリックします

3

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

ネットワークスキャンボックスの新規登録

サーバスキャン/スキャンEメールいずれの場合も、まずネットワークスキャンボックスを新規登録します。

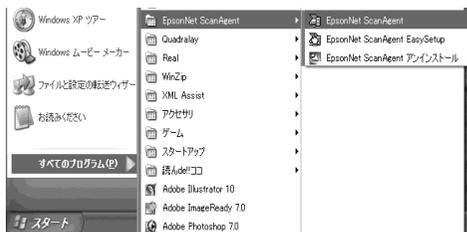


ポイント

- EpsonNet ScanAgent EasySetupを使用すると、ウィザード形式で新規登録やその他の必要な項目を設定できます。
↳ 「EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定」54 ページ
- EpsonNet ScanAgent EasySetupとEpsonNet ScanAgentは同時に起動できません。
- 1 台のネットワークスキャンボックスでサーバスキャンもスキャン E メールも行う場合、同じネットワークスキャンボックスを二度登録する必要はありません。
- 他の人がスキャナドライバでスキャナを使用している間は、EpsonNet ScanAgentでの設定ができませんのでご注意ください。

1 スキャナ、ESNSB2、コピーユニットの電源がオンになっていることを確認します。エージェント PC とファイルサーバが異なる場合は、ファイルサーバの電源がオンになっていることも確認しておいてください。

2 EpsonNet ScanAgentを起動します。



3 [新規登録] メニューをクリックし、[スキャンボックス登録] をクリックします。



クリックして

クリック

4 次の画面が表示されます。下記を参照して各項目を設定します。

①任意のネットワークスキャニングボックス名

任意の名称を、半角英数8文字以内で入力します。ネットワークスキャニングボックス1台につき、1つの名称を設定してください。

②IP Address

ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを入力します。1桁または2桁の数値が含まれる場合は、192.168.1.22のように入力してください(ピリオドは入力不要です)。



ポイント

工場出荷時のIPアドレスは、[192.168.192.168]に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせて、必ずIPアドレスを設定してください。

③[スキャナ検索]ボタン

入力されたIPアドレスの、ネットワークスキャニングボックスの接続を確認します。このボタンをクリックすると [コピーユニット選択] 画面が表示されますので、お使いのコピーユニット (CS-7000か、それ以外か) を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

このときにエラーメッセージまたはパスワード入力画面が表示された場合は、下記を参照して対処してください。

☞「困ったときは」103 ページ

④ スキャナホームフォルダパス/[参照]ボタン

ネットワークスキャニングボックス1台につき、1つのフォルダを作成します。

1. [参照] ボタンをクリックします。
2. 右の画面が表示されます。スキャナホームフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

画面は、EPSONという名称のサーバの、SCANHOMEという共有フォルダを選択した例です。

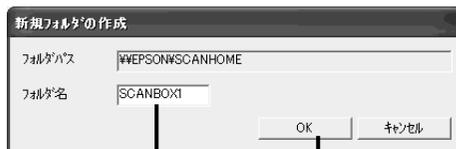


選択して クリック

- 半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。
- このときにエラーメッセージが表示された場合は、下記を参照して対処してください。
[🔗 「困ったときは」 103 ページ](#)
- フォルダを選択しても[OK]ボタンが有効にならない場合、そのフォルダは選択できません。

3. 右の画面が表示されます。先ほど選択したフォルダの下層に作成するフォルダ名を半角英数8文字以内で入力し、[OK]ボタンをクリックします。

画面は、SCANHOME フォルダの下に、SCANBOX1 というフォルダを作成する例です。この場合、SCANBOX1 と入力します。



入力して クリック

5 [OK] ボタンをクリックします。

全項目を入力した上で、スキャナ検索に成功しないと、[OK] ボタンは有効になりません。

サーバスキャンの設定を行う場合は、サーバスキャンユーザーの登録に進みます。

🔗「サーバスキャンユーザーの新規登録」62 ページ

スキャンEメールの設定を行う場合は、スキャンEメール設定に進みます。

🔗「スキャンEメール設定」81 ページ

サーバスキャンユーザーの新規登録

コピーユニットのパネルに表示するユーザーの名称や、サーバスキャンユーザーフォルダパス（サーバスキャンしたデータを保存するフォルダ）などを設定します。



EpsonNet ScanAgent EasySetupを使用すると、ウィザード形式でユーザーを一括登録したりその他の必要な項目を設定できます。

📄 「EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定」54 ページ

ユーザーはネットワークスキャンボックス1台につき、100人まで登録可能です（ネットワークスキャンボックスに接続するコピーユニットがCS-7000以外の場合は、30人までです）。

- 1 [新規登録] メニューをクリックし、[サーバスキャンユーザー登録] をクリックします。



- 2 次の画面が表示されます。下記を参照して各項目を設定します。

①ユーザー名

コピーユニットのパネルに表示するユーザー名を、半角英数カナ 15文字以内で入力します。

サーバスキャン実行時、コピーユニットのパネル上でユーザー名を選択します。ここで入力するユーザー名がその時に表示されますので、

- 例えば山田さん用のユーザー名は YAMADA にするなど、ユーザーが自分用のユーザー名であることを理解しやすい名称にしてください。
- 入力した名称をメモしておき、各ユーザーに知らせておいてください。

②サーバスキャンユーザーフォルダパス

新しいフォルダを作成する場合：

- ③ [新規フォルダ選択] ボタンをクリックして、サーバスキャンユーザーフォルダを作成します。

既存のサーバスキャンユーザーフォルダを使用する場合：

- ④ [既存フォルダ選択] ボタンをクリックして、サーバスキャンユーザーフォルダを選択します。

 **ポイント**

- フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。
- 各ユーザーがプロファイル(取り込み設定ファイル)を作成する際に、サーバスキャンユーザーフォルダを指定する必要があります。また、サーバスキャンしたデータは、サーバスキャンユーザーフォルダに保存されます。そのため、
 - ・ ユーザーごとにフォルダを分ける場合は、例えば山田さん用のフォルダ名は YAMADAにするなど、ユーザーが自分用のフォルダであることを理解しやすい名称にしてください。
 - ・ サーバ名/フォルダ名を各ユーザーに知らせておいてください。
- スキャンEメールと同一ユーザーであっても、スキャンEメールユーザーフォルダとの共用はできません。別のフォルダを作成してください。

③[新規フォルダ選択]ボタン

新しいフォルダを作成する場合にクリックします。

1. このボタンをクリックすると右の画面が表示されます。サーバスキャンユーザーフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

画面は、EPSON という名称のサーバの、SRVUSER という共有フォルダを選択した例です。

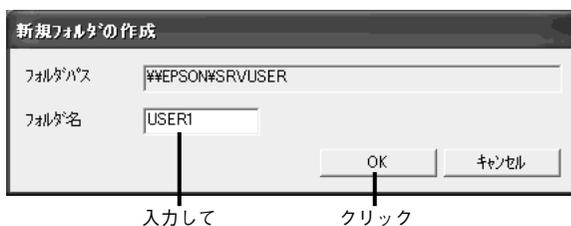


- 半角英数 9 文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。
- フォルダを選択しても [OK] ボタンが有効にならない場合、そのフォルダは選択できません。

2. 右の画面が表示されます。先ほど選択したフォルダの下層に作成するフォルダ名を半角英数 8 文字以内で入力し、[OK] ボタンをクリックします。

画面は、SRVUSER フォルダの下に、USER1 というフォルダを作成する例です。この場合、USER1 と入力します。

この後は、③に進みます。



④[既存フォルダ選択]ボタン

既存のサーバスキャンユーザーフォルダを選択する場合にクリックします。

1. このボタンをクリックすると右の画面が表示されます。サーバスキャンユーザーフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

画面は、EPSON という名称のサーバの、SRVUSER\USER1 という共有フォルダを選択した例です。



- 半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。
- この時にエラーメッセージが表示された場合は、正しいフォルダを選択し直してください。
- フォルダを選択しても[OK]ボタンが有効にならない場合、そのフォルダは選択できません。

3 [OK] ボタンをクリックします。

4 [スキャンボックス選択] 画面が表示されます。

画面左のリストでユーザーを登録したいネットワークスキャンボックスを選択します。[=>] ボタンをクリックして画面右のリストに入れ、[OK] ボタンをクリックします。



選択して クリック クリック

5 複数のユーザーを登録する場合は、①～④の操作を繰り返します。



ポイント

コピーユニットのパネルに表示されるユーザーの順番を変えることができます。詳しくはヘルプをご覧ください。

次に、必要に応じてプロファイル（スキャン条件の設定ファイル）の編集に進みます。

🔗「プロファイルの編集」66 ページ

プロファイルの編集

プロファイルとは、スキャン条件（色数・用紙サイズ・解像度など）の設定ファイルのことです。サーバスキャンでは、プロファイルの内容に従って画像のスキャンと保存が実行されます。



ポイント

- プロファイルは、EpsonNet ScanEditorでも編集できます。サーバスキャンの利用者それぞれのPCにEpsonNet ScanEditorをインストールし、各自でプロファイルを編集する場合は、管理者がEpsonNet ScanAgentで編集する必要はありません。
- ここでは、EpsonNet ScanAgent、EpsonNet ScanEditor共通で説明します。

EpsonNet ScanAgentで編集する場合

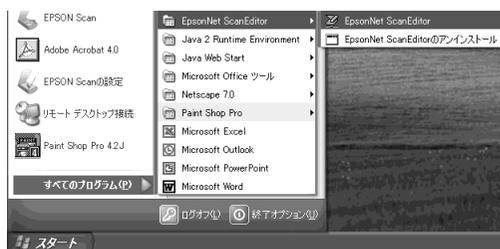
- 1 画面左のリストで「サーバスキャンユーザー」の左にある「+」をクリックし、プロファイルを編集したいユーザーの名称をクリックします。

この後は、6に進んでください。



EpsonNet ScanEditorで編集する場合

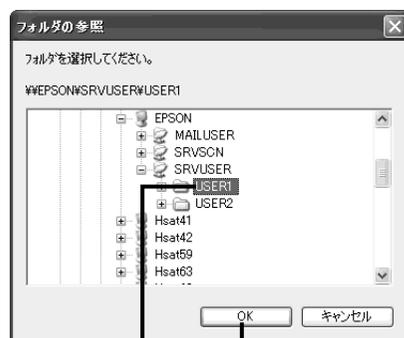
- 2 EpsonNet ScanEditorを起動します。



- 3 画面左のリストで「サーバスキャンユーザー」を右クリックし、「接続」をクリックします。



- 4 右の画面が表示されます。自分用のサーバスキャンユーザーフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。自分用のサーバスキャンユーザーフォルダ名については、EpsonNet ScanAgent でサーバスキャンの設定をした方にご確認ください。



選択して クリック



ポイント

プロフィール情報のないフォルダを選択していると[OK]ボタンがグレイアウトします。

- 5 画面左のリストで [サーバスキャンユーザー] の左にある [+] をクリックし、自分のユーザー名をクリックします。他人のユーザー名が表示される場合は、他人のサーバスキャンユーザーフォルダを選択しています。自分用のフォルダを選択し直してください。



クリックして クリック

共通

6 下記を参照して各項目を設定します。

画面は EpsonNet ScanAgent ですが、設定内容は EpsonNet ScanEditor も同様です。



①現在のスキャンフォーマット

スキャンした画像の保存形式です。通常は汎用フォーマット（PDF、JPEG）のままにしておくことをお勧めします。変更する場合は、お使いのアプリケーションの対応フォーマットに合わせて選択してください。



ポイント

- スキャンフォーマットは、1ユーザーにつき 1つのフォーマットのみ選択できます。2つのフォーマットを混在させることはできません。
- 選択したスキャンフォーマットがコピーユニットのパネル上で、プロファイル名の先頭に表示されます。

スキャンフォーマット	説明
汎用フォーマット (TIFF、JPEG)	汎用的なTIFFまたはJPEG形式で保存されます。TIFFまたはJPEG形式に対応している市販のアプリケーションで開くことができます。TIFFとJPEGのどちらになるかは、③プロファイルの中で設定する[イメージタイプ]によって決まります。
汎用フォーマット (PDF、JPEG)	初期設定です。汎用的なPDFまたはJPEG形式で保存されます。Adobe Acrobat (Reader) または、JPEG形式に対応している市販のアプリケーションで開くことができます。PDFとJPEGのどちらになるかは、③プロファイルの中で設定する[イメージタイプ]によって決まります。
サーバスキャンフォーマット	独自の画像フォーマットです。このファイルを開くには、サーバスキャン対応アプリケーションが必要です。詳細はエプソン販売のホームページをご覧ください。URLは次の通りです。 http://www.i-love-epson.co.jp/products/scanner/application/

② スキャナ種類

ネットワークスキャニングボックスに接続されているスキャナを選択します。



ポイント

- ES-6000H/ES-6000HSをお使いの場合は、ES-6000を選択してください。
- お使いの機種名がない場合は[ES-A3 スキャナ(ES-8000/6000は除く)]を選択してください。

7 必要に応じてプロフィールを編集します。

プロフィールは、3種類の設定があらかじめ用意されています。また、サーバスキャン実行時にコピーユニットのパネルでも設定できます。そのため、プロフィールの設定は必須ではありません。

しかし文書の電子ファイル化など、特定の用途があれば、その用途に適した設定を作成しておく便利です。

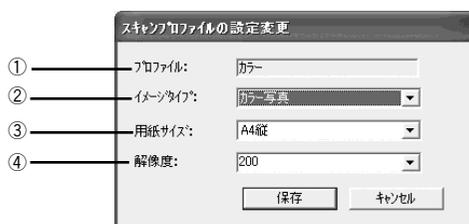
プロフィールを編集する場合は、下記のボタンをクリックします。

ボタン	説明
[追加] ボタン	プロフィールを新規作成する場合にクリックします。プロフィールは4 つまで登録できます。初期設定では3 つ登録されていますので、必要に応じてどれかのプロフィールを削除してください。プロフィール名は、[セッテイ1]～[セッテイ4]の名称が自動的に設定されます。文字の編集はできません。
[変更] ボタン	あらかじめ用意されている設定を変更する場合は、変更したいプロフィール名を選択して、このボタンをクリックします。あらかじめ用意されている設定は次の3 種類です。 カラー : カラー写真、A4 縦、200dpi モノクロ : 白黒写真、A4 縦、200dpi OCR : 白黒OCR用、A4縦、400dpi
[削除] ボタン	あらかじめ用意されている設定を削除する場合は、削除したいプロフィール名を選択して、このボタンをクリックします。初期設定で使用されているプロフィール名は、削除すると復元できませんのでご注意ください。

プロフィールを編集しない場合は、⑩に進んでください。

8 [追加] または [変更] ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

下記を参照して各項目を設定します。



①プロフィール

パネル上に表示するプロフィール名です。新規に追加する場合は、[セッテイ1]～[セッテイ4] の名称が自動的に設定されます。文字の編集はできません。



ポイント

- サーバスキャンを実行する時に、ここで入力したプロフィール名をコピーユニットのパネルで選択します。そのため、プロフィール名と設定内容をサーバスキャンの利用者に連絡してください。
- パネルには、現在選択されているスキャンフォーマットがプロフィール名の先頭に表示されます。

②イメージタイプ

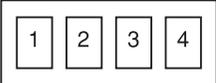
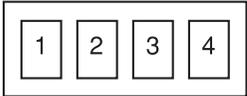
取り込む画像の色数の設定を、リストから選択します。

ボタン	ファイル形式	説明
カラー(36)	TIFF または PDF ^{*1}	ES-8000 を接続している場合のみ表示されます。687 億色 (36bit) のカラーで取り込みます。データ容量が多くなるため、通常は選択しないでください。
カラー(JPEG)	JPEG	1,677 万色 (24bit) のカラーで取り込みます。カラー原稿の場合、この設定で十分な画質が得られます。カラー写真は非圧縮形式のため、データ容量が多くなります。
カラー写真	TIFF または PDF ^{*1}	
グレースケール	TIFF または PDF ^{*1}	256 階調で、白黒写真のように取り込みます。グレースケールは非圧縮形式のため、データ容量が多くなります。
グレイ(JPEG)	JPEG	
白黒線画	TIFF ^{*2} または PDF	図面や線画を取り込む場合に選択します。白黒2値(白か黒)のデータで取り込みます。
白黒OCR用	TIFF ^{*2} または PDF	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒2値(白か黒)のデータで取り込みます。背景色は除去して文字のみ抽出します。
白黒ハーフトーン	TIFF または PDF ^{*1}	文字と画像が混在している原稿を取り込む場合に選択します。文字は白黒2値、画像部分は疑似中間調処理をして取り込みます。コピーやFAX送信用画像の取り込みにお使いください。

^{*1} 汎用フォーマット (PDF、JPEG) を選択している場合のみ、PDF形式になります。

^{*2} 汎用フォーマットを選択している場合は G4 圧縮、サーバスキャンフォーマットを選択している場合は G3 圧縮になります。

ADF から複数枚連続で取り込む場合、作成されるファイルは次のようになります。

スキャンフォーマット	ファイル
汎用フォーマット (TIFF) 汎用フォーマット (PDF)	<p>全ページが1つのファイルとして取り込まれます。</p>  <p>TIFF の場合はマルチページTIFF 形式になります。このファイルを開くには、マルチページTIFF 形式に対応したアプリケーション(スキャナ付属のEPSON ScanPalette など)が必要です。</p>
汎用フォーマット (JPEG)	<p>1 ページが1つのファイルとして取り込まれます。</p> 
サーバスキャンフォーマット	<p>全ページが1つのファイルとして取り込まれます。</p>  <p>このファイルを開くには、サーバスキャンフォーマットに対応したアプリケーション(スキャナ付属のEPSON ScanPalette など)が必要です。</p>

汎用フォーマットのファイル名は、「スキャンボックス名-年月日時分-3桁の連番.拡張子」になります。

(例) 2003年2月18日の13:16に、10枚連続でスキャンした場合

スキャンフォーマット	ファイル名
汎用フォーマット (TIFF)	ScanBox1-0302181316-001.tif (10枚で1つのファイル)
汎用フォーマット (PDF)	ScanBox1-0302181316-001.pdf (10枚で1つのファイル)
汎用フォーマット (JPEG)	ScanBox1-0302181316-001.jpg ~ ScanBox1-0302181316-010.jpg (連番が異なる10個のファイル)

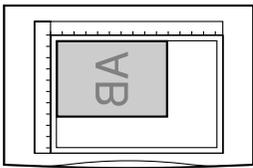
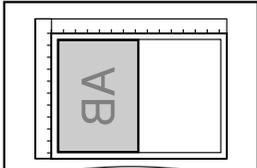
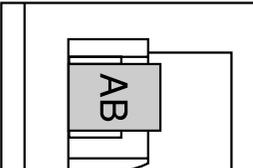
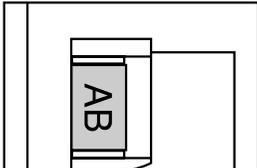
サーバスキャンフォーマットのファイル名は、「J+7桁の乱数.000」になります。

(例: J0006977.000)

③用紙サイズ

セットする原稿のサイズに合わせて選択します。

スキャナにA4 またはB5 サイズの原稿をセットする場合は、下図を参照して選択してください。

A4 縦 / B5 縦の場合		A4 横 / B5 横の場合	
原稿台		原稿台	
ADF		ADF	



ポイント

- サーバスキャンを実行する時は、ここで設定した向きで原稿をセットしてください。
- リストに表示されないサイズの原稿を取り込む場合は、Web ブラウザで任意用紙サイズを登録してください。詳しくは下記をご覧ください。
[🔗 「Webブラウザでのネットワーク設定」122 ページ](#)
 ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADF から取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

④解像度

画像の用途に合わせて設定します。主な目安は次の通りです。

用途	解像度
壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ用	96dpi
レーザープリンタでの印刷	200dpi
文書ファイリング	300dpi
EPSON カラーインクジェットプリンタでの印刷	300dpi
OCR (光学文字認識)	400dpi

リストに希望の数値がない場合は、その数値を入力してください。入力できる範囲は50～1200dpi ですが、不必要に高い数値を入力しないでください。解像度が高いほどデータ容量が増え、ファイルサーバのハードディスク空き容量が減ります。

9

[保存] ボタンをクリックして画面を閉じます。

複数のプロフィールを編集する場合は、⑦～⑨の操作を繰り返します。

- 10** コピーユニットがCS-7000の場合は、必要に応じてパスワードを設定します。パスワードを設定すると、コピーユニットのパネルでサーバスキャンの操作を行う際に、同じパスワードの入力が必要になります。パスワードを設定したい場合は、[パスワード変更] ボタンをクリックして新しいパスワードを入力してください。初期設定では、パスワードは設定されていません。設定する場合は4桁の半角数字（0～9）で設定してください。



ポイント

このパスワードはユーザーごとに設定するものです。パスワードを EpsonNet ScanAgentで設定する場合は、該当するユーザーだけに通知してください。

- 11** EpsonNet ScanAgentで編集している場合は、ユーザーの人数分、①～⑩の操作を繰り返します。

これでサーバスキャンの新規設定は終了です。コピーユニットの取扱説明書を参照してサーバスキャンを実行してください。



ポイント

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003で、EpsonNet ScanAgentのインストール時に「アプリケーションとして起動」を選択した場合および、Windows 95/98/Meの場合は、サーバスキャン実行時にEpsonNet ScanAgentを起動しておく必要があります。そのため、EpsonNet ScanAgentは終了せず、このままの状態にしておいてください。なお、最小化ボタンをクリックして最小化しておいても構いません。最小化すると、タスクバーの右端にアイコンのみが表示されます。

スキャンEメールの設定

ここでは、スキャンEメールの設定手順を説明しています。

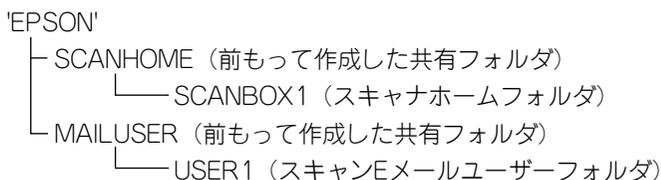
● スキャンEメール設定の流れ	76
● スキャンEメール設定	81
● スキャンEメールユーザーの新規登録	87
● メールプリセットの編集	90
● メールアドレス/件名/本文などの設定 ..	95
● 宛先リストの設定	100

スキャンEメール設定の流れ

スキャンEメールの新規設定は、次の流れで行います。それぞれの参照先に従って設定を進めてください。

本書では、次のケースを例に説明します。

ファイルサーバ名 : EPSON
スキャナホームフォルダパス : EPSON¥ SCANHOME¥ SCANBOX1
スキャンEメールユーザーフォルダパス : EPSON¥ MAILUSER¥ USER1



ポイント

- 本書では、重要な設定項目のみ説明します。そのほかの項目については、EpsonNet ScanAgentのヘルプをご覧ください。
- スキャンEメールの設定は、EpsonNet ScanAgent/EpsonNet ScanEditorの設定画面または、EpsonNet ScanAgent EasySetupのウィザード形式の設定画面で設定することができます。
- スキャンEメールの設定は、メールサーバの管理者またはネットワーク管理者の方が行ってください。どちらもない場合は、コンピュータ(Windows)の扱いに慣れた方が行ってください。

EpsonNet ScanAgent/ScanEditorでの設定

- 1 EpsonNet ScanAgentおよび、EpsonNet ScanEditorをインストールします。
📖「ソフトウェアのインストール」56 ページ
インストール済みの場合は、次の手順に進んでください。
- 2 EpsonNet ScanAgentで、ネットワークスキャンボックスを登録します。
📖「ネットワークスキャンボックスの新規登録」59 ページ



ポイント

サーバスキャン用に登録済みの場合は不要です。次の手順に進んでください。

- 3 送信メールサーバや受信メールサーバのアドレス、1メールあたりの最大サイズなどを設定します。

☞「スキャンE メール設定」81 ページ



- 4 2で登録したネットワークスキャンボックスに、スキャンEメールを利用するユーザー（コピーユニットからメールを送信する人）を登録します。

ユーザーは、スキャナ 1 台につき 100 人まで登録できます。

☞「スキャンE メールユーザーの新規登録」87 ページ



ポイント

サーバスキャン用に登録済みのユーザーであっても、スキャンEメール用に登録してください。

- 5 メールプリセット（色数、用紙サイズ、解像度などのスキャン条件設定）を編集します。初期設定では、3つのプリセットが用意されています。また、スキャンEメール実行時にコピーユニットのパネルで一時的に設定を変更できます。そのため、EpsonNet ScanAgentでのプリセット編集は必須ではありません。しかしプリセットの設定内容はメールの容量に影響するため、ガイドラインとして設定しておくことをお勧めします。
📄「メールプリセットの編集」90 ページ



ポイント

以降の設定は、EpsonNet ScanEditorでも行えます。各ユーザーのPCにEpsonNet ScanEditorをインストールし、ユーザーが自分で設定する場合は、管理者が設定する必要はありません。なお、これらの設定はユーザーごとに行う必要があります。

- 6 スキャンEメールユーザーのメールアドレス、メールの件名や本文などを設定します。
📄「メールアドレス/件名/本文などの設定」95 ページ



- 7 宛先のメールアドレスを登録します。
 ☞ 「宛先リストの設定」 100 ページ

これで設定は終了です。コピーユニットの取扱説明書を参照してスキャンEメールを実行してください。

EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定

スキャンEメール機能を使用するための基本的な設定をウィザード形式で実行できます。メールプリセットの設定やメールに適用する本文、件名などは、EpsonNet ScanAgent や EpsonNet ScanEditorで設定してください。

- 1 EpsonNet ScanAgent EasySetupをインストールします。
 ☞ 「ソフトウェアのインストール」 38 ページ

- 2 ユーザーを登録するためのインポートファイルを作成します。
 インポートファイルは、以下の枠で示した書式（ユーザー名、フォルダ名、ユーザーのメールアドレス、メールで使用するユーザー名<改行>）で記述して、CSV形式で保存します。

```

MUSample - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
//スキャンEメールユーザー登録インポートサンプルファイル
//以下の形式で登録するスキャンEメールユーザーの情報を記述してください。
//※先頭に//を付けると、指定データ行は読み込まれません。
//形式：
// ユーザー名 , フォルダ名 , ユーザーのメールアドレス , メールで使用するユーザー名<改行>
// ユーザー名 , フォルダ名 , ユーザーのメールアドレス , メールで使用するユーザー名<改行>
// . . .
//説明：
// ユーザー名 (必須)                : パネル上に表示される名称
//                                     (半角15文字以内)
// フォルダ名 (必須)                : ユーザー情報が保存されるフォルダの名称
//                                     (半角英数8文字以内)
// ユーザーのメールアドレス (必須)   : スキャンEメールユーザーのメールアドレス
//                                     (半角255文字以内)
// メールで使用するユーザー名 (任意) : メールの差出人として表示される名称
//                                     (半角20文字以内 ※全角可)

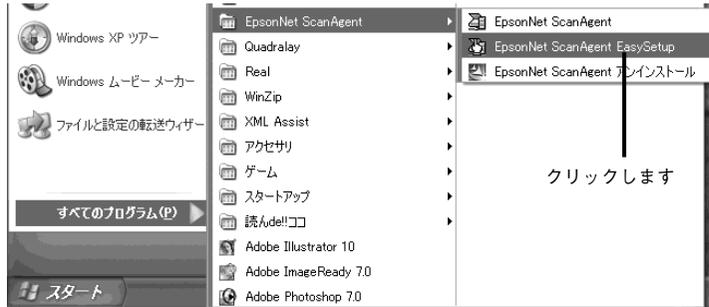
//インポート情報
YAMADA, YAMADA, yamada@epson.co.jp, 山田
TARO, TARO, taro@epson.co.jp, 太郎
HANAKO, HANAKO, hanako@epson.co.jp,
    
```



ポイント

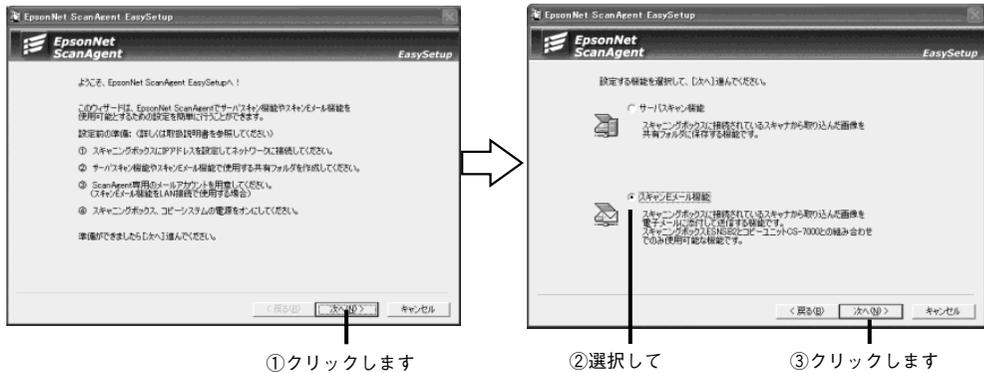
- 前述の画面は、EpsonNet ScanAgent EasySetupのサンプルです。ウィザード形式で設定を進める途中で表示させ、書き換えて利用することができます。
- // で記載されている部分はコメントになり、設定値としては無視されます。部署やグループ分けの備考を書いたりすることができます。

3 EpsonNet ScanAgent EasySetupを起動します。



4 [次へ] ボタンをクリックして、[スキャンEメール機能] を選択し [次へ] ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従って設定してください。



ポイント

- EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定は、EpsonNet ScanAgent の設定画面からも実行することができます。
- 画面の説明をよく読んで設定してください。

スキャンEメール設定

メールサーバのアドレスや認証方式などを設定します。



ポイント

- EpsonNet ScanAgent EasySetupを使用すると、ウィザード形式で必要な項目を設定できます。
🔗 「EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定」79 ページ
- ネットワークスキャンングボックスを登録していない場合は、下記を参照して登録しておいてください。
🔗 「ネットワークスキャンングボックスの新規登録」59 ページ

1

画面左のリストで [環境設定] の左にある [+] をクリックし、[スキャンEメール設定] をクリックします。



クリックして クリック



ポイント

- [スキャンEメール設定]が表示されない場合は、下記を参照して対処してください。
🔗 「困ったときは」103 ページ

2

スキャンEメール設定は4つの画面に分かれています。以降の説明に従って設定してください。



ポイント

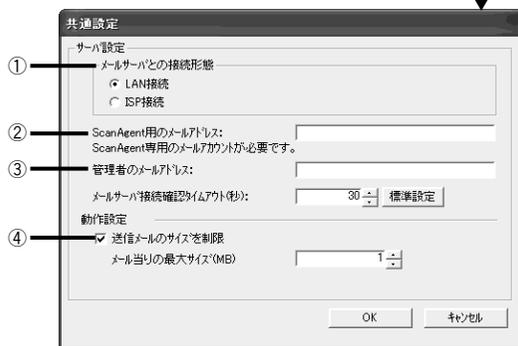
- <LAN>印はLAN接続時の必須設定項目、<ISP>印はISP接続時の必須設定項目です。
- EpsonNet ScanAgentにはスキャンEメールのログを収集する機能があり、[ログ]画面でログ収集に関する設定を変更できます。ただし[ログ]画面には必須設定項目はありませんので、本書では省略します。[ログ]画面についてはヘルプをご覧ください。

[共通]画面

メールサーバの接続形態や、LAN接続時の代理送信者メールアドレスなどを設定します。

1 画面右下の [変更] ボタンをクリックします。

[共通設定] 画面が表示されます。次ページの説明を参照して設定します。



①メールサーバとの接続形態 <LAN> <ISP>

EpsonNet ScanAgentのメールサーバへの接続方法を選択します。

LAN上にあるメールサーバに接続する場合は「LAN接続」、ISP（インターネットサービスプロバイダ）のメールサーバに接続する場合は「ISP接続」を選択します。初期設定は「LAN接続」です。



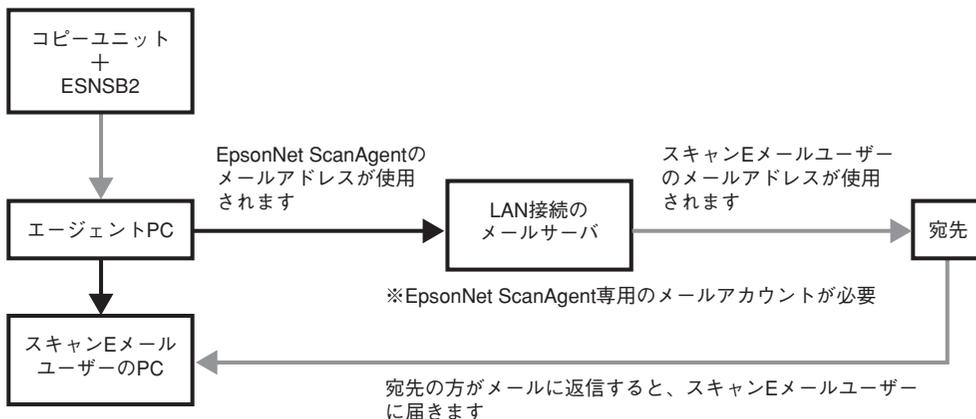
ポイント

ISP接続の場合、宛先不明などの理由で受信メールサーバに戻ってきたメールは、EpsonNet ScanAgentでは確認できません。

②ScanAgent用のメールアドレス <LAN>

LAN接続における次のアドレスです（下図の黒い矢印の部分で使用されます）。入力できる文字数は、半角で255文字までです。ISP接続時は使用されません。

- メールサーバまでの代理送信者メールアドレス（メールサーバから先は、スキャンEメールユーザーのメールアドレスが使用されます）
- 送信エラーを伝えるメールをスキャンEメールユーザーに送る場合の、送信者メールアドレス



③管理者のメールアドレス <LAN> <ISP>

送信メールエラーが発生し、かつスキャンEメールユーザーが特定できない場合は、管理者にメールで通知します。この通知メールの宛先として使用されます。EpsonNet ScanAgentで設定する方のメールアドレスを入力してください。入力できる文字数は、半角で255文字までです。

④送信メールのサイズを制限／メール当りの最大サイズ

初期設定では [送信メールのサイズを制限] チェックボックスがチェックされており、1メールで送信可能な最大サイズが1MBに設定されています。変更する場合は1～10MBの間で1MB単位で設定できます。

[送信メールのサイズを制限] チェックボックスのチェックを外すと、サイズが無制限になりますのでご注意ください。



ポイント

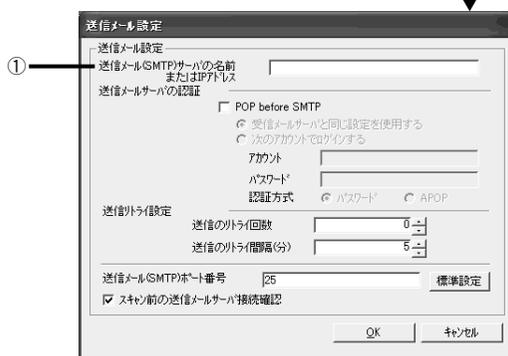
複数ページをスキャンした場合に、メールのサイズがここで設定した値を超える場合は、ページを分割して送信します。ただし、1つのページは分割しません。1ページのデータが設定値を超える場合は、メール送信不可であることをスキャンEメールユーザーへメールで通知します。

2 [OK] ボタンをクリックします。

[送信メール]画面

送信メールサーバのアドレスなどを設定します。

- 1 画面右の [送信メール] タブをクリックし、[変更] ボタンをクリックします。
[送信メール設定] 画面が表示されます。下記を参照して設定します。



①送信メール(SMTP)サーバの名前またはIPアドレス <LAN> <ISP>

メール送信用の SMTP サーバ (LAN 接続の場合は EpsonNet ScanAgent のメールアカウントを登録したメールサーバ) の IP アドレスまたは、ホスト名を入力します。入力できる文字数は、半角で 255 文字までです。分からない場合はメールサーバの管理者にご確認ください。

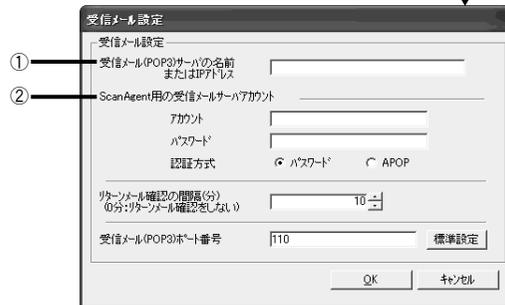
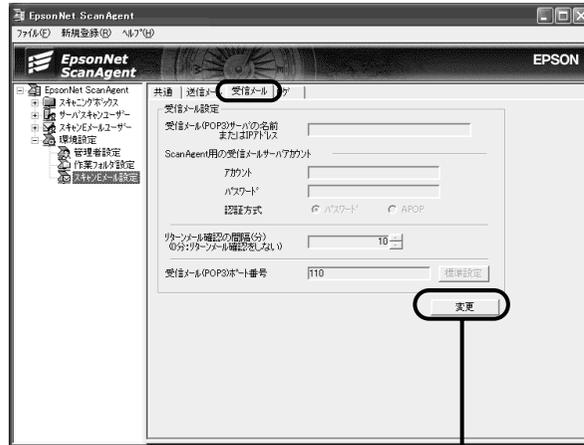
ホスト名は、DNS などによる名前解決ができる場合のみ有効です。

- 2 [OK] ボタンをクリックします。

【受信メール】画面

受信メールサーバのアドレスなどを設定します。

- 画面右の【受信メール】タブをクリックし、【変更】ボタンをクリックします。
【受信メール設定】画面が表示されます。下記を参照して設定します。



①受信メール(POP3)サーバの名前またはIPアドレス<LAN> <ISP>

メール受信用の POP3 サーバ (LAN 接続の場合は EpsonNet ScanAgent のメールアカウントを登録したメールサーバ) の IP アドレスまたは、ホスト名を入力します。入力できる文字数は、半角で 255 文字までです。送信メールサーバ (SMTP) と同じ場合は、同じ IP アドレスまたはホスト名を入力してください。分からない場合はメールサーバの管理者にご確認ください。

ホスト名は、DNS などによる名前解決ができる場合のみ有効です。

②ScanAgent用の受信メールサーバアカウント<LAN>

LAN 上のメールサーバに接続する環境で送信エラーが発生した場合に、POP3 サーバからエラーメールを受信するためのアカウントなどを設定します。

設定項目	説明
アカウント <LAN>	LAN接続時の、POP3サーバに対するEpsonNet ScanAgent(のメールアドレス)のアカウントを入力します。入力できる文字数は、半角で255文字までです。ISP接続時は各送信者のアカウントを使用するため、このアカウントは使用されません。
パスワード <LAN>	LAN接続時の、POP3サーバに対するEpsonNet ScanAgent(のメールアドレス)のパスワードを入力します。入力できる文字数は、半角で64文字までです。ISP接続時は各送信者のアカウント／パスワードを使用するため、このパスワードは使用されません。
認証方式 <LAN>	POP3の認証方式が、パスワードかAPOPかを選択します。メールサーバの管理者にご確認ください。初期設定はパスワードです。

2 [OK] ボタンをクリックします。

次に、スキャンE メールユーザーの登録（次ページ）に進みます。

スキャンEメールユーザーの新規登録

コピーユニットのパネルに表示するユーザー名や、ユーザーごとの宛先情報を保存するフォルダなどを設定します。

ユーザーはスキャナ1台につき100人まで登録可能です。



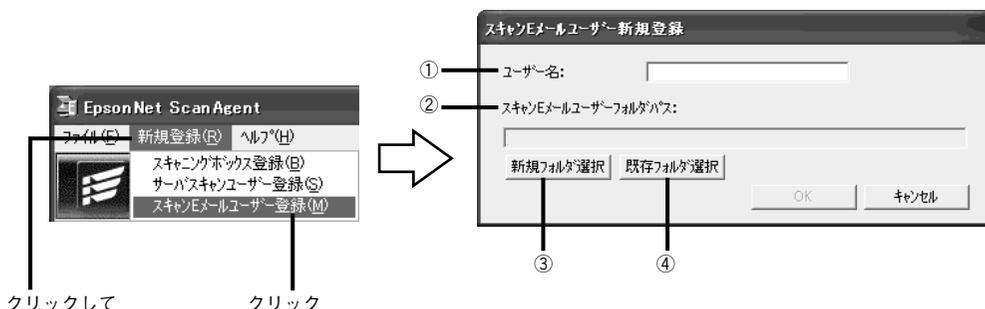
ポイント

EpsonNet ScanAgent EasySetupを使用すると、ウィザード形式でユーザーを一括登録したりその他の必要な項目を設定できます。

🔗 「EpsonNet ScanAgent EasySetupでの設定」79 ページ

1

【新規登録】メニューをクリックし、【スキャンEメールユーザー登録】をクリックします。
【スキャンEメールユーザー新規登録】画面が表示されます。下記を参照して設定します。



①ユーザー名

コピーユニットのパネルに表示するユーザー名を、半角英数カナ15文字以内で入力します。

スキャンEメール実行時、コピーユニットのパネルでユーザー名を選択します。ここで入力するユーザー名がその時に表示されますので、

- 例えば山田さん用のユーザー名は YAMADA にするなど、ユーザーが自分用のユーザー名であることを理解しやすい名称にしてください。
- 入力した名称をメモしておき、各ユーザーに知らせておいてください。

②スキャンEメールユーザーフォルダパス

新しいフォルダを作成する場合：

- ③ [新規フォルダ選択] ボタンをクリックして、スキャンEメールユーザーフォルダを作成します。

既存のフォルダを選択する場合：

- ④ [既存フォルダ選択] ボタンをクリックして、スキャンEメールユーザーフォルダを選択します。



ポイント

- フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。
- この後、管理者または各ユーザーがメールアドレス/件名/本文などを設定する際に、スキャンEメールユーザーフォルダを指定する必要があります。そのため、
 - ユーザーごとにフォルダを分ける場合は、例えば山田さん用のフォルダ名は YAMADAにするなど、ユーザーが自分用のフォルダであることを理解しやすい名称にしてください。
 - サーバ名/フォルダ名を各ユーザーに知らせておいてください。
- サーバスキャンと同一ユーザーであっても、サーバスキャンユーザーフォルダとの共用はできません。別のフォルダを作成してください。

③[新規フォルダ選択]ボタン

新しいフォルダを作成する場合にクリックします。

1. このボタンをクリックすると右の画面が表示されます。スキャンEメールユーザーフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

画面は、EPSON という名称のサーバの、MAILUSER という共有フォルダを選択した例です。

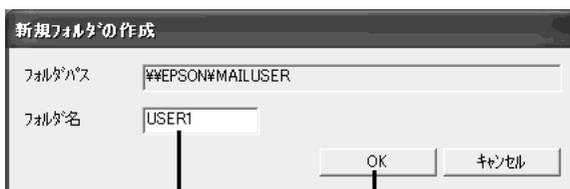


選択して

クリック

- 半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。
- フォルダを選択しても [OK] ボタンが有効にならない場合、そのフォルダは選択できません。

2. 右の画面が表示されます。先ほど選択したフォルダの下層に作成するフォルダ名を半角英数 8 文字以内で入力し、[OK] ボタンをクリックします。画面は、MAILUSER フォルダの下に、USER1 というフォルダを作成する例です。この場合、USER1 と入力します。この後は、②に進みます。



入力して

クリック

④ [既存フォルダ選択] ボタン

既存のスキャンE メールユーザーフォルダを選択する場合にクリックします。

- このボタンをクリックすると右の画面が表示されます。スキャンE メールユーザーフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。
画面は、EPSON という名称のサーバの、MAILUSER¥USER1 という共有フォルダを選択した例です。

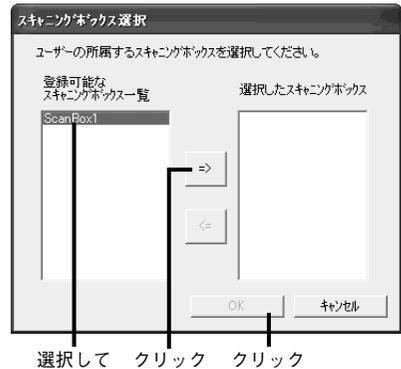


- 半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。
- この時にエラーメッセージが表示された場合は、正しいフォルダを選択し直してください。
- フォルダを選択しても [OK] ボタンが有効にならない場合、そのフォルダは選択できません。

② [OK] ボタンをクリックします。

③ [スキャンボックス選択] 画面が表示されます。

画面左のリストでユーザーを登録したいネットワークスキャンボックスを選択します。[=>] ボタンをクリックして画面右のリストに入れ、[OK] ボタンをクリックします。



④ 複数のユーザーを登録する場合は、①～③の操作を繰り返します。

次に、メールプリセットの編集 (次ページ) に進みます。

メールプリセットの編集

メールプリセットとは、スキャン条件（色数・ファイル形式・用紙サイズ・解像度など）の設定ファイルのことです。

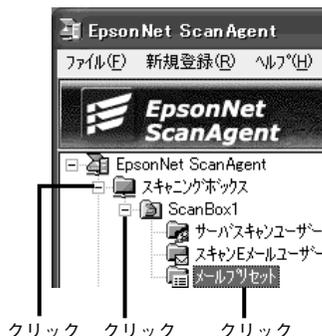


ポイント

初期設定では、3つのプリセットが用意されています。また、スキャンEメール実行時にコピーユニットのパネルで一時的に設定を変更できます。そのため、EpsonNet ScanAgentでのプリセット編集は必須ではありません。しかしプリセットの設定内容はメールの容量に影響するため、ガイドラインとして設定しておくことをお勧めします。

1

画面左のリストで、[スキャニングボックス] 左にある [+] をクリックします。さらにスキャニングボックス名の左にある [+] をクリックし、[メールプリセット] をクリックします。



2

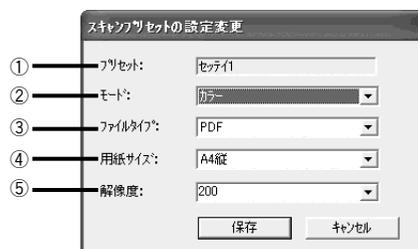
画面右にプリセットのリストが表示されます。

初期設定では 3 種類のプリセットが登録されていますので、それぞれの設定（用紙サイズや解像度など）を確認してください。



- プリセットを追加する場合は、画面左の [プリセット] を右クリックして [追加] をクリックします。プリセット名は、追加した際に [セットイ1] ~ [セットイ4] が自動的に設定されます。
- プリセットを編集する場合は、画面右で編集したいプリセットをダブルクリックするか、または右クリックして [変更] をクリックします。
- 登録できるプリセットは4つまでです。
- プリセットを削除する場合は、削除したいプリセットを右クリックして [削除] をクリックします。確認画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。初期設定で使用されているプロファイル名は、削除すると復元できませんので、ご注意ください。

- 3 ②で追加または変更を選択すると、[メールプリセットの設定変更] 画面が表示されます。下記を参照して設定します。



ポイント

モード、ファイルタイプ、用紙サイズ、解像度の設定によって、画像データの容量が変わります。容量の目安については下記をご覧ください。

[「画像データ容量の目安」94 ページ](#)

①プリセット

パネル上に表示するプロファイル名です。新規に追加する場合は、[セット1]～[セット4] の名称が自動的に設定されます。文字の編集はできません。



ポイント

スキャンメールを実行する時に、ここで入力したプリセット名をコピーユニットのパネルで選択します。そのため、プリセット名と設定内容をスキャンメールユーザーに連絡してください。

②モード

取り込む画像の色数の設定を、リストから選択します。

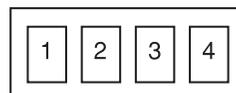
モード	ファイル形式	説明
カラー	PDFまたはJPEG	1,677 万色(24bit)のカラーで取り込みます。ファイルタイプの選択肢はPDFかJPEGになります。
グレイ	PDFまたはJPEG	256 階調で、白黒写真のように取り込みます。ファイルタイプの選択肢はPDFかJPEGになります。
白黒線画	PDF または TIFF (G4またはG3圧縮)	図面や線画を取り込む場合に選択します。白黒2値(白か黒)のデータで取り込みます。ファイルタイプの選択肢はPDFかTIFFになります。
白黒OCR用	PDF または TIFF (G4またはG3圧縮)	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒2値(白か黒)のデータで取り込みます。背景色は除去して文字のみ抽出します。ファイルタイプの選択肢はPDFかTIFFになります。
白黒ハーフトーン	PDFまたはTIFF (非圧縮)	文字と画像が混在している原稿を取り込む場合に選択します。文字は白黒2値、画像部分は疑似中間調処理をして取り込みます。コピーやFAX送信用画像の取り込みにお使いください。ファイルタイプの選択肢はPDFかTIFFになります。白黒ハーフトーンは容量が大きくなりますのでご注意ください。

③ファイルタイプ

メールに添付する画像のファイル形式です。TIFF、PDFまたはJPEGのどれかを選択してください。ファイルタイプの選択肢は、モードの設定によって変わります。ADF から複数枚連続で取り込む場合、作成されるファイルは次のようになります。

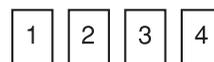
<PDF / TIFF を選択した場合>

全ページが1つのファイルとして取り込まれます。TIFF の場合はマルチページTIFF 形式になります。このファイルを開くには、PDF の場合はAdobe Acrobat (Reader)、TIFF の場合はマルチページTIFF 形式に対応したアプリケーション (スキャナに付属のEPSON ScanPalette など) が必要です。



<JPEG を選択した場合>

1 ページが1つのファイルとして取り込まれます。



ポイント

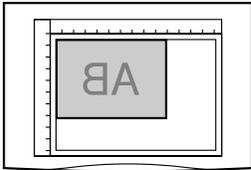
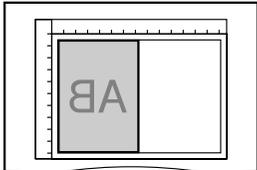
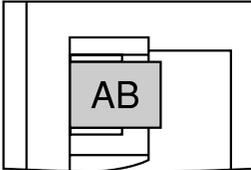
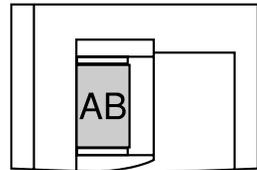
全ページのファイル容量が「メール当りの最大サイズ」を超える場合は、「メール当りの最大サイズ」を越えないページ数に分割して送信されます。

④用紙サイズ

セットする原稿のサイズに合わせて選択します。

スキャナが原稿サイズ検知機能を備えている場合、「自動」を選択すると、セットされている原稿サイズを自動検知します。スキャナが原稿サイズ検知機能を備えていない場合、「自動」は選択できません。

スキャナにA4 またはB5 サイズの原稿をセットする場合は、下図を参照して選択してください。

A4 縦 / B5 縦の場合		A4 横 / B5 横の場合	
原稿台		原稿台	
ADF		ADF	



ポイント

- スキャン E メールを実行する時は、ここで設定した向きで原稿をセットしてください。
- リストに表示されないサイズの原稿を取り込む場合は、Web ブラウザで任意用紙サイズを登録してください。詳しくは下記をご覧ください。
ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADF から取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

[🔗 「Webブラウザでのネットワーク設定」 122 ページ](#)

⑤解像度

画像の用途に合わせて設定します。解像度を上げすぎるとデータ容量が増え、エラーが出て送信できない場合がありますのでご注意ください。解像度設定の主な目安は次の通りです。

用途	解像度
壁紙などのディスプレイ表示や、ホームページ用	96dpi
レーザープリンタでの印刷	200dpi
文書ファイリング	300dpi
EPSON カラーインクジェットプリンタでの印刷	300dpi
OCR (光学文字認識)	400dpi

リストに希望の数値がない場合は、その数値を入力してください。入力できる範囲は50～600dpi ですが、不必要に高い数値を入力しないでください。解像度を上げるとデータ容量が増えるため、エラーが出て送信できない場合があります。

 **ポイント** 初期設定では、「メール当りの最大サイズ」は 1MB です。1 ページのデータ容量がこのサイズを超える場合はエラーになり、送信できませんのでご注意ください。

4 [保存] ボタンをクリックします。

複数のプリセットを編集する場合は、②～④の操作を繰り返します。

次に、メールアドレス/件名/本文などの設定（次ページ）に進みます。

画像データ容量の目安

モード、ファイルタイプ、用紙サイズ、解像度の設定によって、画像データの容量が変わります。容量の目安を下表に示しますので参考にしてください。

モード	ファイルタイプ	用紙サイズ	解像度	容量
カラー	PDFまたはJPEG	A4	300dpi	約660KB
グレイ				約530KB
白黒線画	TIFF (G4 または G3 圧縮) または PDF			約130KB
白黒OCR				約130KB
白黒ハーフトーン	TIFFまたはPDF	約1.1MB		

 **ポイント**

- 用紙サイズが2倍になると、容量は約2倍になります。
- 解像度が2倍になると、容量はおよそ4倍前後になります。
- 白黒ハーフトーンは容量が大きくなります。解像度を 200dpi 以下に設定することを強くお勧めします。
- ファイルタイプによる容量の違いはあまりありません。
- 上表は画像データのみの容量の目安です。

メールアドレス／件名／本文などの設定

スキャンEメールユーザーのメールアドレス、メールの件名や本文などを設定します。



ポイント

- これらはEpsonNet ScanEditorでも設定できます。スキャンEメールユーザーそれぞれのPCにEpsonNet ScanEditorをインストールし、各自で設定する場合は、管理者がEpsonNet ScanAgentで設定する必要はありません。
- ここでは、EpsonNet ScanAgent、EpsonNet ScanEditor共通で説明します。

EpsonNet ScanAgentで編集する場合

- 1 画面左のリストで [スキャンEメールユーザー] の左にある [+] をクリックし、設定したいスキャンEメールユーザー名をクリックします。
この後は、6へ進みます。



クリックして クリック

EpsonNet ScanEditorで編集する場合

- 2 EpsonNet ScanEditorを起動します。

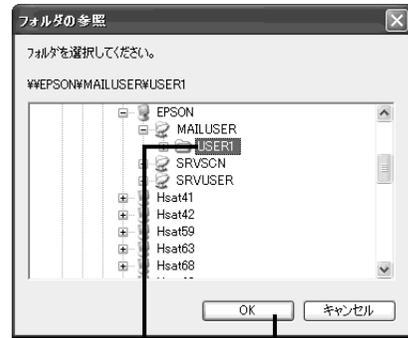


- 3 画面左のリストで [スキャンEメールユーザー] を右クリックし、[接続] をクリックします。



右クリックして クリック

- 4 右の画面が表示されます。自分のスキャンEメールユーザーフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。自分のフォルダ名については、EpsonNet ScanAgentでスキャンEメールの設定をした方にご確認ください。



選択して クリック



スキャンEメールユーザーフォルダは、サーバスキャンユーザーフォルダとは別のフォルダです(サーバスキャンユーザーフォルダは選択できません)。

- 5 画面左のリストで[スキャンEメールユーザー]の左にある[+]をクリックし、自分のユーザー名をクリックします。他人のユーザー名が表示される場合は、他人のフォルダを選択しています。自分のフォルダを選択し直してください。



クリックして クリック

共通

⑥ メールの件名と本文を設定します。

画面は EpsonNet ScanAgent ですが、設定内容は EpsonNet ScanEditor も同様です。



①メールの件名(最大5件)

よく使用するメールの件名を最大5件登録できます。

- ① リストからタイトル番号を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
- ② [編集] 画面で、タイトル○ (○は1～5) に登録する件名を入力します。半角で60文字、全角で30文字以内で入力してください。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。
- ④ 件名を複数登録する場合は、①～③の手順を繰り返します。
メール送信時は、使用したいタイトル番号を選択してください。

②メールの本文(最大5件)

よく使用するメールの本文を最大5件登録できます。

- ① リストから本文番号を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
- ② [編集] 画面で、本文○ (○は1～5) に登録する本文を入力します。半角で400文字、全角で200文字以内で入力してください。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。
- ④ 本文を複数登録する場合は、①～③の手順を繰り返します。
メール送信時は、使用したい本文番号を選択してください。

⑦ その他の項目を設定します。画面右下の [変更] ボタンをクリックします。

- 8 [スキャンEメールユーザー設定] 画面が表示されます。下記を参照して各項目を設定します。

①スキャンEメールユーザーのメールアドレス <LAN> <ISP>

スキャンEメールユーザーのメールアドレスを入力します。入力できるのは、半角で255文字までです。[アドレス帳] ボタンをクリックすると、使用しているメールのアドレス帳から選択することができます。

②[認証] ボタン <ISP>

このボタンをクリックすると次の画面が表示されます。ISP接続において、POP Before SMTP処理を行う場合の認証の設定を行います。LAN接続時、このボタンはグレースアウトします。

③[POP Before SMTP] チェックボックス <ISP>

POP Before SMTPを行う場合（メール送信前に受信処理が必要な場合）にチェックします。チェックした場合は、アカウント、パスワード、認証方式を設定します。

④アカウント <ISP>

ISP接続時の、POP3サーバに対するスキャンEメールユーザー（のメールアドレス）のアカウントを入力します。入力できる文字数は、半角で255文字までです。LAN接続時はEpsonNet ScanAgentのアカウントを使用するため、このアカウントは使用されません。

⑤パスワード <ISP>

ISP接続時の、POP3サーバに対するスキャンEメールユーザー（のメールアドレス）のパスワードを入力します。入力できる文字数は、半角で64文字までです。LAN接続時はEpsonNet ScanAgentのアカウント／パスワードを使用するため、このパスワードは使用されません。

⑥認証方式 <ISP>

POP3の認証方式が、パスワードかAPOPかを選択します。メールサーバの管理者にご確認ください。初期設定はパスワードです。

9 [OK] ボタンをクリックします。

10 スキャンEメールユーザーごとにパスワードを設定することができます。

パスワードを設定すると、コピーユニットのパネルでスキャンEメールの操作を行う際に、同じパスワードの入力が必要になります。

パスワードを設定すると、他人になりすましてメールを送信するなどの悪用を防止できます。設定したい場合は、[パスワード変更] ボタンをクリックして新しいパスワードを入力してください。初期設定では、パスワードは設定されていません。設定する場合は4桁の半角数字（0～9）で設定してください。



ポイント

このパスワードはスキャンEメールユーザーごとに設定するものです。パスワードをEpsonNet ScanAgentで設定する場合は、該当するユーザーだけに通知してください。

11 複数のユーザー分の設定をする場合は、**①～⑩**の手順を繰り返します。

次に、宛先リストの設定（次ページ）に進みます。

宛先リストの設定

宛先のメールアドレスなどを設定します。宛先をグループ分けすることもできます。



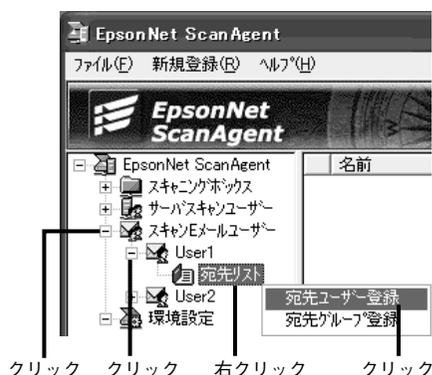
ポイント

- これらはEpsonNet ScanEditorでも設定できます。
スキャンEメールユーザーそれぞれのPCにEpsonNet ScanEditorをインストールし、各自で設定する場合は、管理者がEpsonNet ScanAgentで設定する必要はありません。
- ここではEpsonNet ScanAgentの画面を例に、EpsonNet ScanAgent、EpsonNet ScanEditor共通で説明します。

宛先ユーザーの登録

- 1 画面左のリストで、[スキャン E メールユーザー]の左にある[+]をクリックし、ユーザー名の左にある[+]をクリックします。

さらに[宛先リスト]を右クリックし、[宛先ユーザー登録]をクリックします。



- 2 [宛先ユーザー追加]画面が表示されます。
下記を参照して各項目を設定します。

The dialog box titled '宛先ユーザー追加' contains the following fields and controls:

- ① 宛先ユーザー名称: (半角英数カナ) - Input field
- ② メールで使う名称(漢字可): Input field
- ③ 宛先ユーザーのメールアドレス: Input field with a 'アドレス帳' button to its right.
- コメント: Input field
- Buttons: OK, キャンセル

①宛先ユーザー名称(半角英数カナ) <LAN> <ISP>

コピーユニットのパネルに表示する、メールの宛先ユーザー名を、半角英数カナ15文字以内で入力します。

既に登録されている宛先ユーザー名は入力できません。

②メールで使う名称(漢字可)

メールクライアント上に表示する宛先の名称を入力します。半角20文字または全角10文字以内で入力してください。初期設定は宛先ユーザー名称です。

③宛先ユーザーのメールアドレス <LAN> <ISP>

宛先ユーザーのE-Mailアドレスを、半角255文字以内で入力します。[アドレス帳] ボタンをクリックすると、使用しているメールのアドレス帳から選択することができます。

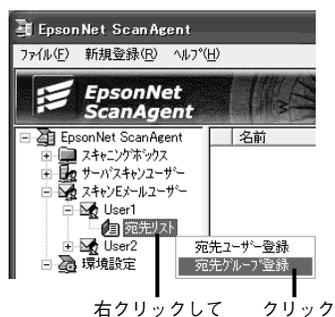
③ [OK] ボタンをクリックします。

④ 複数の宛先ユーザーを登録する場合は、①～③の操作を繰り返します。

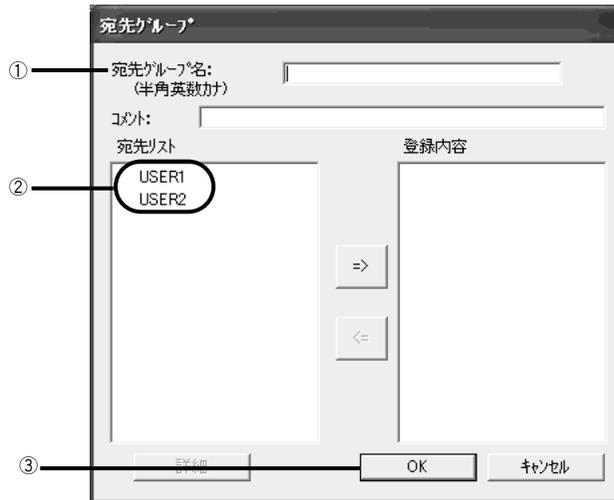
宛先グループの登録

登録した宛先ユーザーをグループ分けすることができます。コピーユニットのパネルでグループを選択すると、そのグループに所属する宛先ユーザー全員にメールを送ることができます。

① 画面左のリストで [宛先リスト] を右クリックし、[宛先グループ登録] をクリックします。



2 [宛先グループ] 画面が表示されます。下記を参照してグループを設定します。



- ① [宛先グループ名] を、半角英数カナ15文字以内で入力します。
- ② [宛先リスト] から、グループに入れたい宛先ユーザーをクリックし、[>=] ボタンをクリックして [登録内容] リストに入れます。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。

これでスキャンEメールの新規設定は終了です。コピーユニットの取扱説明書を参照してスキャンEメールを実行してください。



ポイント

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003で、EpsonNet ScanAgentのインストール時に「アプリケーションとして起動」を選択した場合および、Windows 95/98/Meの場合は、スキャンEメール実行時にEpsonNet ScanAgentを起動しておく必要があります。そのため、EpsonNet ScanAgentは終了せず、このままの状態しておいてください。なお、最小化ボタンをクリックして最小化しておいても構いません。最小化すると、タスクバーの右端にアイコンのみが表示されます。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| ● | トラブルが発生したら | 104 |
| ● | ESNSB2 本体のトラブル..... | 105 |
| ● | サーバスキャン/スキャンEメールのトラブル.. | 107 |
| ● | パスワードを忘れた時の対処方法 | 113 |
| ● | ソフトウェアの再インストール..... | 114 |
| ● | サポートのご案内 | 116 |

トラブルが発生したら

現在の症状がどれに当てはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

ESNSB2本体のトラブル

ESNSB2のErrorランプが点灯する、ESNSB2がネットワークで認識されないなどの対処方法を説明しています。

[🔗「ESNSB2本体のトラブル」 105 ページ](#)

サーバスキャン/スキャンEメールのトラブル



EpsonNet ScanAgent や EpsonNet ScanEditorでの設定時にエラーが出るなどの対処方法を説明しています。

[🔗「サーバスキャン/スキャン Eメールのトラブル」 107 ページ](#)



ポイント

次の場合は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 取り込んだ画像の品質上のトラブル(取り込んだ画像が暗い、色がおかしい、斑点のような模様が生じるなど)
- オプション使用時のトラブル(透過原稿ユニットから取り込んだ画像がおかしい、ADF での紙詰まりなど)

⚠️ 注意

次のような場合は故障と思われるので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

- ESNSB2が極端に発熱する（非常に温度が高い）、ケースに変形が起こる
 - 変な臭いや音が出る、煙が出る
 - ESNSB2のErrorランプが消灯しない
- 内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。

ESNSB2本体のトラブル

ランプ表示

■：点灯 ：点滅 □：消灯

点滅の下の数値「x,y」は、点灯x秒、消灯y秒の繰り返しであることを表します。

例) 0.5,0.5は、点灯0.5秒、消灯0.5秒です。

ランプ表示			対処
Ready ■	Network □	Error □	次のことを確認してください。 ①ESNSB2とHUBに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ②ESNSB2のネットワーク設定が正しく行われているか 正しく行われていない場合は下記を参照して対処してください。  「ESNSB2のネットワーク設定」30 ページ ③HUBが正常に動作しているか ④ネットワークケーブルが断線していないか
Ready  0.5,0.5	Network  0.5,0.5	Error ■	スキャナが接続されていません。EPSON ESシリーズのスキャナを、付属のSCSIケーブルでしっかり接続してください。
Ready  1,1	Network  不規則	Error  1,1	スキャナでエラーが発生しています。スキャナ取扱説明書を参照し、エラーの原因を取り除いてください。
Ready □	Network  1,3	Error ■	ネットワーク上の他の機器と、IPアドレスが重複しています。他の機器と重複しない値に設定してください。
Ready □	Network  1,1 (3秒おきに2回点滅)	Error ■	IPアドレスが不正です(すべて0または255になっています)。正しい値に設定してください。

ACアダプタを接続しても電源が入らない

- ①スキャナの電源をオンにしてください。ESNSB2の電源も連動してオンになります。
- ②SCSIケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

ESNSB2がネットワークで認識されない

内容	対処
<ul style="list-style-type: none">• EpsonNet WinAssist/MacAssistのリストに表示されない• EpsonNet ScanAgentの接続テストでエラーが出る• pingコマンドでタイムアウトになる• EpsonNet WebAssistを起動できない	<p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">①スキャナの電源がオンになっているか②SCSIケーブルがしっかり接続されているか③ESNSB2、HUB、PCそれぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか④PC側で、ESNSB2のIPアドレスを間違えて入力していないか⑤ESNSB2およびPCで、ネットワーク設定が正しく行われているか、IPアドレスが初期値以外に設定されているか⑥HUBが正常に動作しているか⑦ネットワークケーブルが断線していないか⑧エージェントPCのネットワーク設定で「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」がインストールされていないか(この場合、必要でなければ削除してください)

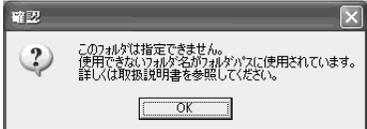
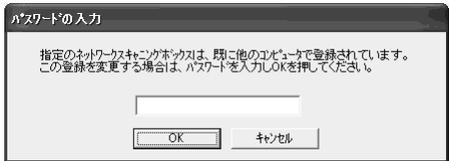
漏洩電流について

多数の電子機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じる場合があります。

このような時には、本機を接続している機器などからアース（接地）を取ることをお勧めします。

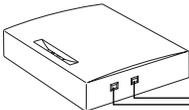
サーバスキャン／スキャンEメールのトラブル

サーバスキャン／スキャンEメール設定時のエラー

内容	対処
<p>EpsonNet ScanAgentの[スキャナ検索]ボタンまたは[テスト]ボタンを押した時にエラーが出る</p> 	<p>次のことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スキャナの電源がオンになっているか ②SCSIケーブルがしっかり接続されているか ③ESNSB2、HUB、エージェントPCそれぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④EpsonNet ScanAgentで、ESNSB2のIPアドレスを間違えて入力していないか ⑤ESNSB2およびエージェントPCで、ネットワーク設定が正しく行われているか ⑥HUBが正常に動作しているか ⑦ネットワークケーブルが断線していないか
<p>スキャナホームフォルダ、サーバスキャンユーザーフォルダまたはスキャンEメールユーザーフォルダの指定時にエラーが出る</p> 	<p>スキャナホームフォルダ作成時： 他のネットワークスキャナ用のスキャナホームフォルダは指定できません。他のフォルダを指定してください。</p> <p>サーバスキャンユーザーフォルダ／スキャンEメールユーザーフォルダ選択時： フォルダの指定が間違っています。フォルダを確認し、指定し直してください。</p>
<p>EpsonNet ScanAgentの[スキャナ選択]ボタンを押した時に、パスワード入力画面が出る</p> 	<p>他のPC上のEpsonNet ScanAgentで、既にサーバスキャン／スキャンEメールの設定がされており、設定を続けると他のPCの設定が上書きされます。</p> <p>上書きしてよければ、パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。</p> <p>上書きしない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックして設定を中止してください。</p>
<p>EpsonNet ScanAgentの[コピーユニット選択]画面でコピーユニットを選択した時にエラーが出る</p> 	<p>コピーユニットの選択が間違っています。正しいコピーユニットを選択してください。</p>
<p>スキャンEメールの設定項目が表示されない</p>	<p>接続コピーユニットとしてCS-7000が選択されていません。ESNSB2登録時のコピーユニットにはCS-7000を選択してください。</p>

サーバスキャン/スキャンEメール実行時のトラブル

コピーユニットに表示されるエラーメッセージ

コピーユニットパネル表示	対処
スキャンボックスエラー発生 通信エラー スキャンボックスのエラー解除後 ストップボタンを押してください	次のことを確認してください。 ① スキャナの電源がオンになっているか ② SCSIケーブルとACアダプタがしっかり接続されているか ③ 赤外線ポートが異物などで塞がっていないか  赤外線ポート
スキャンボックスエラー発生 サーバが見つかりません ストップボタンを押してください	次のことを確認してください。 ① ファイルサーバおよび、エージェント PC の電源がオンになっているか (ログオンしているか) ② エージェント PC で、EpsonNet ScanAgent がアプリケーションまたはサービスとして起動しているか ③ ファイルサーバ・エージェント PC・ESNSB2・HUB それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ ファイルサーバ・エージェント PC・ESNSB2 それぞれで、ネットワーク設定が正しく行われているか ⑤ HUB が正常に動作しているか ⑥ ネットワークケーブルが断線していないか
スキャンボックスエラー発生 ユーザーが見つかりません ストップボタンを押してください	EpsonNet ScanAgent で、ユーザーが正しく登録されているか確認してください。
スキャンボックスエラー発生 プリセットが見つかりません ストップボタンを押してください	EpsonNet ScanEditor で、プロファイルが正しく登録されているか確認してください。
スキャンボックスエラー発生 サーバのディスク容量不足です ストップボタンを押してください	ファイルサーバまたはエージェント PC のハードディスク空き容量 (仮想記憶領域) が不足しているため、画像を保存できません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバまたはエージェント PC のハードディスク空き容量 (仮想記憶領域) を増やしてください。目安として、カラー・A3・600dpi で 210MB 以上、カラー・A3・1200dpi で 840MB 以上の空き容量が必要です。
スキャンボックスエラー発生 ディスク容量不足です ストップボタンを押してください	ファイルサーバのメモリ容量が不足しているため、画像を保存できません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバのメモリを増やしてください。
スキャンボックスエラー発生 サーバのメモリが不足しています ストップボタンを押してください	ファイルサーバのメモリ容量が不足しているため、画像を保存できません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバのメモリを増やしてください。
スキャンボックスエラー発生 ネットワークエラー ストップボタンを押してください	スキャナの電源を入れ直して再試行してください。 それでもエラーが発生する場合は、次のことを確認してください。 ① ネットワークが混雑していないか ② ESNSB2 の IP アドレスが、他のネットワーク機器と重複していないか
スキャンボックスエラー発生 ファイルが作成できません ストップボタンを押してください	エージェント PC が、ユーザースキャンフォルダに書き込む権限がありません。書き込み権限を設定してください。
スキャンボックスエラー発生 混みあっています ストップボタンを押してください	エージェント PC に、既に 5 台のネットワークスキャンボックスが接続しています。エージェント PC に同時接続できるのは 5 台までですので、他のネットワークスキャンボックスでサーバスキャンが終了するまでお待ちいただき、再試行してください (再試行は自動では行われません)。

コピーユニットパネル表示	対処
<p>スキャンボックスエラー発生 エージェントが見つかりません ストップボタンを押してください</p>	<p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エージェントPCの電源がオンになっているか(ログオンしているか)、EpsonNet ScanAgentがアプリケーションまたはサービスとして起動しているか ② エージェントPC・ESNSB2・HUBそれぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ③ エージェント PC・ESNSB2 それぞれで、ネットワーク設定が正しく行われているか ④ HUBが正常に動作しているか ⑤ ネットワークケーブルが断線していないか
<p>スキャンボックスエラー発生 メールサーバが見つかりません ストップボタンを押してください</p>	<p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① EpsonNet ScanAgentで、メールサーバのアドレスを間違えて入力していないか ② メールサーバが正常に稼働しているか(メールサーバの管理者にご確認ください) <p>メールサーバが起動していても、このエラーが頻発する場合は、EpsonNet ScanAgentの[送信メール設定]画面で、[スキャン前の送信メールサーバ接続確認]チェックボックスのチェックを外してください。</p>
<p>スキャンボックスエラー発生 プリセットが見つかりません ストップボタンを押してください</p>	<p>EpsonNet ScanAgentで、メールプリセットが正しく登録されているか確認してください。</p>
<p>スキャンボックスエラー発生 宛先情報が見つかりません ストップボタンを押してください</p>	<p>EpsonNet ScanAgentまたはEpsonNet ScanEditorで、宛先のメールアドレスを登録してください。</p>
<p>スキャンボックスエラー発生 エージェントのメモリが不足しています ストップボタンを押してください</p>	<p>エージェントPCのメモリを増設してください。256MB以上を推奨します。</p>
<p>ワーニング発生 宛先が設定されていません</p>	<p>コピーユニットのパネルで宛先を選択してください。</p>
<p>スキャンボックスエラー発生 スキャンEメールエラー ストップボタンを押してください</p>	<p>スキャン中に次のことが起こった可能性があります。これらをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エージェントPCまたはESNSB2の電源をオフにした ② EpsonNet ScanAgentを終了した ③ ネットワークケーブルを抜いた

サーバスキャンのプリセット選択画面に、作成したプロファイルが表示されない

EpsonNet ScanAgentまたはEpsonNet ScanEditorでのスキャナの選択が間違っています。正しいスキャナを選択してください。詳しくは下記をご覧ください。

[🔗「プロファイルのスキャナ種類変更方法」 112 ページ](#)



ポイント

- ES-6000H/ES-6000HSをお使いの場合は、ES-6000を選んでください。
- お使いの機種名がない場合は、[ES-A3 スキャナ (ES-8000/6000 は除く)]を選んでください。

ADFを装着していても、給紙方法の選択画面でADFxxを選択できない

スキャナを変更すると、ADFからスキャンできなくなる場合があります。スキャナを変更した場合は、EpsonNet ScanAgentでスキャナを選択し直してください。詳しくは下記をご覧ください。

[🔗「EpsonNet ScanAgentでのスキャナ選択方法」 111 ページ](#)

ADFで両面をサーバスキャン/スキャンEメールしても、裏面の画像が180度回転しない

この場合は、次のことを確認してください。

- ① EpsonNet ScanAgent で [ADF 一両面] が有効になっているか
無効（グレー表示）になっている場合は、次のように対処してください。
 - ADFが正しく接続されていることを確認してください。
 - EpsonNet ScanAgentで、スキャナを選択し直してください。詳しくは下記をご覧ください。
[🔗「EpsonNet ScanAgentでのスキャナ選択方法」 111 ページ](#)
- ② EpsonNet ScanAgent で、[ADF 一両面] の [A4 以下の原稿で、裏面の向きを表面に合わせる] がチェックされているか
- ③ スキャナや ADF を変更していないか
スキャナや ADF を変更すると、ADF を誤認識する場合があります。この場合は、EpsonNet ScanAgent でスキャナを選択し直してください。詳しくは下記をご覧ください。
[🔗「EpsonNet ScanAgent でのスキャナ選択方法」 111 ページ](#)

サーバスキャンが終わっても、サーバ上に画像ができていない

高解像度でスキャンした画像は、作成に時間がかかります。そのため、しばらく時間をおいてから再度画像にアクセスしてください。

なお、画像作成の時間は、スキャンの解像度やエージェントPCの性能に左右されますので、以下の対応で早くなる場合があります。

- ① スキャンの解像度を下げる
- ② エージェント PC のメモリを増設する（例：128MB → 512MB 以上）
また、EpsonNet ScanAgent が混雑している場合（同時にスキャンしている人がいる場合や、他の人が高解像度でスキャンしている場合など）は、スキャンした画像の作成に時間がかかる場合があります。
- ③ エージェント PC の性能を上げる（例：CPU 233MHz → 1GHz）

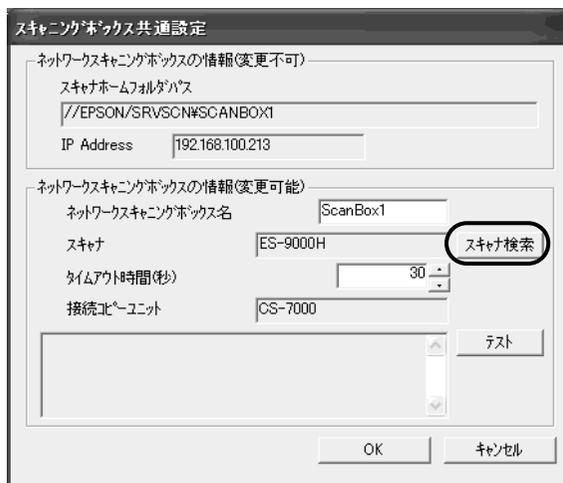
EpsonNet ScanAgentでのスキャナ選択方法

スキャナ、ADFまたはコピーユニットを変更した場合は、次の手順で設定し直してください。

- 1 画面左のリストで [スキャンングボックス] 左にある [+] をクリックし、スキャンングボックス名をクリックします。
画面右の [変更] ボタンをクリックします。



- 2 [スキャナ検索] ボタンをクリックします。
[コピーユニット選択] 画面が表示されたら、お使いのコピーユニット (CS-7000 か、それ以外か) を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。
[スキャナ] 項目に、ネットワークスキャンングボックスに接続されているスキャナの型番が表示されれば正常です。



[スキャナ検索] ボタンをクリックしてもスキャナ名が表示されずに、エラーメッセージまたはパスワード入力画面が表示された場合は、下記を参照して対処してください。
☞「サーバスキャン/スキャンE メール設定時のエラー」 107 ページ

3 [OK] ボタンをクリックします。

プロファイルのスキャナ種類変更方法

サーバスキャンのプロファイルでスキャナ種類を変更する方法を、EpsonNet ScanAgent/EpsonNet ScanEditor共通で説明します。

1 画面左のリストで [サーバスキャンユーザー] の左にある [+] をクリックし、ユーザー名をクリックします。



2 画面右の [スキャナ種類] リストで、ネットワークスキニングボックスに接続されているスキャナを選択します。



ポイント

- ES-6000H/ES-6000HSをお使いの場合は、ES-6000を選択してください。
- お使いの機種名がない場合は、[ES-A3 スキャナ (ES-8000/6000 は除く)] を選択してください。

パスワードを忘れた時の対処方法

パスワードを忘れてしまった場合は、ESNSB2を工場出荷時設定に戻す必要があります。

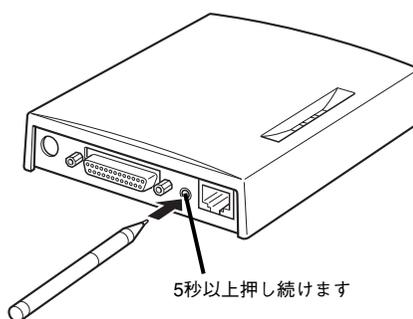


ポイント

このパスワードは、EpsonNet ScanAgentの他、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist/EpsonNet WebAssistでも使用されます。

工場出荷時設定への戻し方

- 1 スキャナの電源をオフにします。
- 2 [RESET] スイッチを押し続けながら、スキャナの電源をオンにします。
[RESET] スイッチは、5 秒以上押し続けてください。



- 3 5秒以上経過したら、[RESET] スイッチから指を離してください。
これで工場出荷時設定に戻りました。
- 4 ネットワーク設定をやり直す必要がありますので、下記を参照して設定してください。
🔗「ESNSB2 のネットワーク設定」31 ページ



ポイント

EpsonNet ScanAgentの管理者パスワードを忘れてしまった場合は、Epson Net ScanAgentをいったん削除してから再度インストールしてください。パスワードなしの状態に初期化されます。

ソフトウェアの再インストール

何らかの原因でソフトウェアの動作が不安定になっている場合は、次の手順で再インストールしてください。

ソフトウェアの削除

ソフトウェアを再インストールする前に、現在インストールされているソフトウェアを、アンインストールプログラムを使用して削除（アンインストール）してください。



ポイント

スキナドライバの再インストール方法については、スキナに付属の取扱説明書をご覧ください。

Windowsの場合

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003の場合は、管理者の権限でログオンしておいてください。

1 アンインストーラを起動します。

EpsonNet ScanAgent を削除する場合：

[スタート] - [プログラム] - [EpsonNet ScanAgent] - [EpsonNet ScanAgent アンインストール] の順にクリックします。

EpsonNet ScanEditor を削除する場合：

[スタート] - [プログラム] - [EpsonNet ScanEditor] - [EpsonNet ScanEditor アンインストール] の順にクリックします。

EpsonNet WinAssist を削除する場合：

- ① [コントロールパネル] を開きます。
- ② [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- ③ リストから EpsonNet WinAssist を選択して、[追加と削除]（または [変更と削除]）ボタンをクリックします。

2 この後は、画面の指示に従って削除してください。

削除が終了したら、コンピュータを再起動してソフトウェアを再インストールしてください。

Macintoshの場合

EpsonNet MacAssist のフォルダまたはアイコンを、ゴミ箱にドラッグしてください。

最新のソフトウェア入手方法

ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページにより最新版の提供を行う予定です。

ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

インターネット

エプソン販売のホームページアドレスは次の通りです。

<http://www.i-love-epson.co.jp>

インターネット経由でのダウンロード*¹・解凍*²・インストール方法については、ホームページに記載されていますので、そちらをご覧ください。なお、インストールする前に、114 ページを参照して旧バージョンのソフトウェアを削除してください。

*¹ ダウンロード： パソコン通信やインターネット上に登録されているデータを、ネットワーク通信を介して自分のコンピュータに保存することです。

*² 解凍： ダウンロードしたファイルは圧縮（複数のファイルをまとめて、データ容量を小さくすること）されています。解凍とは、圧縮されているデータを元のファイルに復元することです。

CD-ROMでの郵送

エプソンディスクサービスで承っております。郵便局へ実費をお振り込みいただくと、郵送にてお送りいたします。

申込方法の詳細はエプソンFAXインフォメーションでご確認ください。FAXインフォメーションの番号は裏表紙にあります。

サポートのご案内

エプソンが行っている各種サービス、サポートは次のとおりです。

エプソンFAXインフォメーション

エプソン製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。
ファックス付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。
ファックス番号は裏表紙にあります。

エプソンインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
電話番号および受付時間については、裏表紙をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

これは次のメリットがあります。

- ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページによる提供を行う予定です。インターネットからダウンロードすれば、迅速にバージョンアップが行えます。

ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

- エプソン販売のホームページには、FAQ（製品に関するQ&A）が掲載されています。トラブルの際にお役に立ちます。

ホームページのアドレス

エプソン販売：<http://www.i-love-epson.co.jp>

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。
でも分厚い解説本を見たとなん、どうもやる気が失せてしまう。
エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。ぜひお気軽にご参加ください。
お問い合わせは本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

故障かな？と思ったときは、慌てずに、まず取扱説明書中の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
電話番号および受付時間については、裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	年間一定の保守料金	
	持込保守	年間一定の保守料金	
出張修理	<ul style="list-style-type: none"> お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出張し、現地で修理を行います。 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 	有償 (出張料のみ)	出張料 +技術料 +部品代 修理完了後、 そのつどお支払い ください
持込／送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料 +技術料 +部品代 修理完了品を お届けしたとき にお支払い ください
ドアtoドアサービス	<ul style="list-style-type: none"> 指定の運送会社をご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、ドアto ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。 	有償 (ドアtoドア サービス料金 のみ)	有償 (ドアtoドア サービス料金 +修理代)

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

● arp コマンドでの IP アドレス設定	120
● Web ブラウザでのネットワーク設定.....	122
● 基本仕様	125
● 用語解説	127
● 索引	131

arpコマンドでのIPアドレス設定

Windows (3.1/NT3.51を除く)にTCP/IPが正常に組み込まれている場合は、arpコマンドでIPアドレスを設定することができます。

arpコマンドは、ESNSB2と同じセグメント内のPCでのみ実行できます。



ポイント

- arpコマンドで設定できるのはIPアドレスだけです。サブネットマスクとゲートウェイアドレスは設定できません。サブネットマスクとゲートウェイアドレスも設定する場合は、EpsonNet WinAssist/MacAssistから設定してください。
 「ESNSB2のネットワーク設定」31ページ
- ESNSB2のIPアドレスは、他のネットワーク機器や、既に使用されているIPアドレスと重複しないようにしてください。
- ここでは、ESNSB2のIPアドレスを192.168.100.201(プライベートアドレス)に設定する場合を例に説明します。

1

スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2の電源も連動してオンになります。

2

arpコマンドを実行するPCで、ゲートウェイアドレスを設定します。

- ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを設定します。
- ゲートウェイがない場合は、arpコマンドを実行するPCのIPアドレスをゲートウェイアドレスとして設定します。
- ゲートウェイアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3

MS-DOSプロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

4

最寄りの動作中PCまたはルータがあれば、それらに対してpingコマンドを実行します。

書式) ping_IP アドレス (_ は半角スペース)

例) IPアドレス 192.168.100.101 のPCがある場合 :

```
> ping_192.168.100.101
```

pingコマンドが成功すると、“Reply From 192.168.100.101 : bytes=32 Time<10ms TTL=255” というメッセージが表示されます (Timeなどの値は変動します)。

5 arpコマンドを実行して、ESNSB2に設定するIPアドレスをESNSB2のMACアドレスに関連付けます。

使用する OS によってコマンドの記述が異なります。詳細はお使いの OS の取扱説明書をご覧ください。



ポイント

- ESNSB2 の MAC アドレス (000048xxxxxx) は、ESNSB2の底面に貼られているシールで確認できます。
- 工場出荷時のIPアドレスは[192.168.192.168]に設定されていますが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせ、必ずIPアドレスを入力してください。

書式) arp_s_ESNSB2 に設定する IP アドレス_ESNSB2 の MAC アドレス
(_ は半角スペース)

例) > arp_s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00 (MAC アドレスは例)

このコマンドによりIPアドレスの情報が送られて、ESNSB2がIPアドレスを認識します。

6 スキャナの電源を一度オフにしてから、再度オンにします。

電源再投入後、設定した IP アドレスが有効になります。

7 スキャナの電源をオンにしたら、次のコマンドを実行してIPアドレスが正しく設定されたことを確認します。

書式) ping_ESNSB2 の IP アドレス (_ は半角スペース)

例) ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、“Reply From 192.168.100.201:bytes=32 time<10ms TTL=255” というメッセージが表示されます (Time の値は変動します)。

ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201であることを確認します。

これで IP アドレス設定は終了です。

Webブラウザでのネットワーク設定

一度設定したESNSB2のネットワーク設定を変更する場合は、EpsonNet WinAssist/MacAssistのほかに、Webブラウザからも行うことができます。

また、サーバスキャン/スキャンEメール時の任意用紙サイズを設定する場合は、Webブラウザから行います。



ポイント

- Webブラウザからの設定では、ESNSB2が内蔵しているプログラム [EpsonNet WebAssist] を呼び出します。EpsonNet WebAssistは、ESNSB2にIPアドレスを設定後、使用可能になります。
- お使いのコンピュータ (WindowsまたはMacintosh) に、Internet Explorer 4.0以降、Netscape Navigator 3.02以降またはNetscape Communicator 4.0以降のWebブラウザをインストールしておいてください。
- Webブラウザで、前もってESNSB2のIPアドレスに対してプロキシを使用しない設定にしておいてください。詳しくは下記をご覧ください。
 「Webブラウザの設定についての注意」 35 ページ
- Webブラウザでの設定が終了するまで、ESNSB2の電源をオフにしたり、ネットワークスキャン、サーバスキャンまたはスキャンEメールを実行しないでください。

1

スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

スキャナの電源をオンにすると、ESNSB2の電源も連動してオンになります。

2

Webブラウザを起動して次の書式でURLを入力し、[Enter] キーを押します。

書式) http://ESNSB2のIPアドレス/

例) http://192.168.100.201/ (IPアドレスは例です)

3

EpsonNet WebAssistが起動します。

本書では、サーバスキャン/スキャンEメール時の任意用紙サイズの設定方法のみ説明します。このほかの設定については、EpsonNet WebAssistのヘルプをご覧ください。ヘルプを表示するには、画面左上の [Help] をクリックします。

任意用紙サイズの設定方法

1 [用紙サイズ] をクリックします。

[サーバスキャン時の任意用紙サイズ設定] 画面が表示されます。次ページの表を参照して設定します。

有効	表示名		用紙サイズ		単位
	用紙選択	パネル表示 注 3	幅	高さ	
1 <input checked="" type="checkbox"/>	写真L縦	ショットL短	8.9	12.7	cm
2 <input type="checkbox"/>	写真L横	ショットLヨ	12.7	8.9	cm
3 <input type="checkbox"/>	ハガキ縦	ハガキ短	10.0	14.8	cm
4 <input type="checkbox"/>	ハガキ横	ハガキヨ	14.8	10.0	cm
5 <input type="checkbox"/>	名刺縦	メイ短	5.5	9.1	cm
6 <input type="checkbox"/>	名刺横	メイヨ	9.1	5.5	cm
7 <input type="checkbox"/>	ユーザー定義				cm
8 <input type="checkbox"/>	ユーザー定義				cm
9 <input type="checkbox"/>	ユーザー定義				cm
10 <input type="checkbox"/>	ユーザー定義				cm

変更を元に戻す

送信

用紙サイズを工場出荷時に戻す

注1

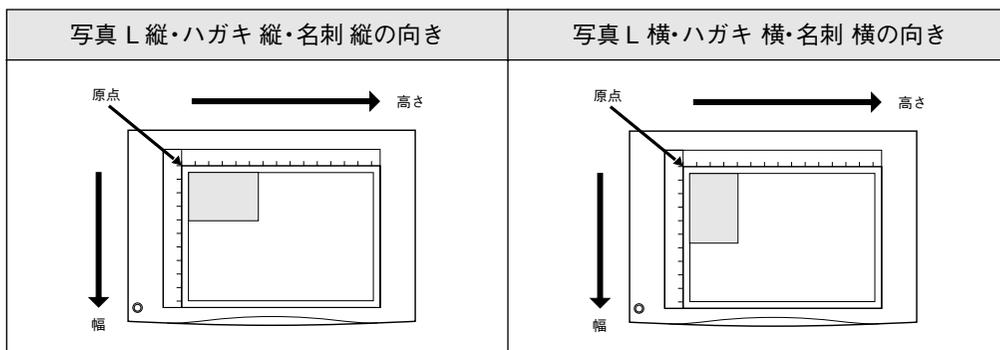


ポイント

この設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADFから取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

項目		説明
[有効]チェックボックス		チェックすると、右側の設定が有効になります。
表示名	用紙選択	あらかじめ、L判写真、ハガキおよび名刺のサイズが定義されています。これらを取り込む場合は、ここから選択してください。縦横の向きについては下図をご覧ください。他のサイズを設定する場合は、ユーザ定義を選びます。
	パネル表示	コピーユニットのパネルに表示する用紙名を、半角英数カナ16文字以内で入力します。*
用紙サイズ		下図を参照し、用紙の幅と高さを入力します。*
単位		用紙サイズの単位を、cmまたはインチから選びます。通常はcmのままにしておいてください。
[変更を元に戻す]ボタン		[送信]ボタンを押す前であれば、変更前の状態に戻すことができます。送信した後では元に戻せません。
[送信]ボタン		ESNSB2に設定を送信します。
[用紙サイズを工場出荷時に戻す]ボタン		用紙サイズの設定を、工場出荷時の状態に戻します。

*用紙選択項目で、写真 L x、ハガキ x または名刺 x を選択した場合は、自動的に設定されますので入力不要です。



幅 : 入力できる範囲は2.0～32.9cmまでですが、スキャナによって（主走査方向の）取り込み領域が異なりますので、スキャナの取扱説明書でご確認ください。

高さ : 入力できる範囲は2.0～48.3cmまでですが、スキャナによって（副走査方向の）取り込み領域が異なりますので、スキャナの取扱説明書でご確認ください。

2 [送信] ボタンをクリックします。

[設定は正常に更新されました！] と表示されたら、[今すぐリセット] ボタンをクリックします。これで設定は終了です。

基本仕様

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ハードウェア基本仕様

外形寸法	幅121mm×奥行111mm×高さ29mm
重量	450g
インターフェイス	ネットワーク : 10Base-T/100Base-TX (自動切替) コピーユニット : 赤外線 スキャナ : SCSI-2 (D-Sub25ピン) SCSI ID : 7固定 ターミネータ内蔵 (ON)
対応スキャナ	本製品とスキャナは必ず1対1で接続し、同一SCSIバス上に他のSCSI機器を接続 (デジジーチェーン) しないこと。 ネットワークスキャンの場合は、EPSON ESシリーズのスキャナ。 サーバスキャン/スキャンEメールの場合は、コピーユニットが対応しているA3スキャナ。

電氣的性能

AC 電源電圧	外部AC アダプタ 定格 : AC100- 120V (AC \pm 10%)
AC 電源周波数	定格 : 50~60Hz (47~63Hz)
AC 消費電力	約3.0 W
DC 電源電圧	+3.4V (AC アダプタEU- 37 から供給)
DC 消費電流	0.6A
絶縁抵抗	10M Ω 以上 (DC500V にてAC ラインとシャーシ間)
絶縁耐圧	AC1.5kV rms 1分 (AC ラインとシャーシ間)

適合規格(耐電磁障害、耐電気ノイズ、環境保護)

耐電磁障害	VCCI クラスB に適合
漏洩電流	0.25mA 以下
電源高調波	高調波抑制対策ガイドラインに適合

耐電気ノイズ

静電気	接触放電 \pm 4.5KV (150pF、330 Ω) 気中放電 \pm 8.5KV (150pF、330 Ω)
-----	----------------------------------------------------------------------------------

環境条件

温度	動作時 : 5~35 $^{\circ}$ C 保存時 : -25~60 $^{\circ}$ C
湿度	動作時 : 10~80% (結露なきこと) 保存時 : 10~85% (結露なきこと)

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度 異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光が当たる場所、光源の近くは避けること

用語解説

英数字

API:

Application Program Interfaceの略で、アプリケーションソフトとコンピュータ(OS)の仲立ちをするもの。汎用性のあるAPIを定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAINとは、スキャナを制御するためのAPIの規格。

ARP:

Address Resolution Protocolの略で、TCP/IPプロトコル群に属するアドレス解決プロトコルのこと。ホストのIPアドレスからMACアドレスを検索する時に用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。

→ TCP/IP、プロトコル、IPアドレス、MACアドレス

bit:

binary digit (2進数) の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0か1で表す。8bitで0~255の数値を表すことができる。

BOOTP:

BOOTstrap Protocolの略。BOOTPサーバからIPアドレスやホスト名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報を取得する仕組みのこと。

→ IPアドレス、ホスト名、サブネットマスク、ゲートウェイ

DHCP:

DHCPはDynamic Host Configuration Protocol (動的ホスト構成プロトコル)の略。クライアントPCの起動時に、DHCPサーバが自動的にIPアドレスとその関連情報を割り当てる仕組み。

→ TCP/IP、クライアント

DNS:

Domain Name Systemの略で、ネットワーク上のドメイン名と、そのIPアドレスとの対応付けを行う仕組みのこと。IPアドレスは4桁の8bit単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前(ドメイン名)との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名からIPアドレスへの変換を行う。変換を行うサーバをDNSサーバという。

→ IPアドレス、bit

Ethernet(イーサネット):

コンピュータやワークステーションなどで使われるネットワーク方式のこと。もっとも広く普及している方式。

通信速度は10Mbpsまたは100Mbps。ケーブル接続の規格には、10Base-T、100Base-TXなどがある。

→ 10Base/100Base

HUB(ハブ):

10Base-T/100Base-TXのケーブルを束ねるための、ネットワークの接続装置。10Base-T/100Base-TXでは、各コンピュータを直接接続するのではなく、ハブを介してスター状に接続するため、クライアントPCの移動や増設の際に、ネットワークを停止する必要がない。

→ 10Base/100Base、クライアント

IPアドレス:

IPはInternet Protocolの略。TCP/IPプロトコルによるネットワークで使われるアドレス（識別子）で、これによりネットワーク上でコンピュータを特定する。

IPアドレスは数字の羅列（192.168.100.200など）なので、インターネットの世界では、通常は分かりやすい名称（ホスト名）を使用する。

→ TCP/IP、ホスト名

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続・電子メールなど）を行う際には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC (<http://www.nic.ad.jp/index-j.html>) に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者にご相談ください。

なお、IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスを使用できます。（RFC1918で規定されています）

プライベートアドレス：

10.0.0.1 ~ 10.255.255.254

172.16.0.1 ~ 172.31.255.254

192.168.0.1 ~ 192.168.255.254

MACアドレス:

Media Access Control アドレスの略で、ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレスのこと。

Open Transport:

MacOSのネットワーク環境モジュールのこと。Open Transportにより、他の形態のネットワークを利用することができる。

PDF:

Portable Document Formatの略。電子形式書類の一種で、Acrobat Readerという無料ソフトによって閲覧できる。

ping:

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対してpingコマンドを実行し、正常にTCP/IPが実装されているか確認する。

→ TCP/IP

POP:

Post Office Protocolの略。TCP/IP を用いてメールの内容を読み出すためのプロトコル。

→ TCP/IP

RARP:

Reverse Address Resolution Protocolの略。RARPサーバからIPアドレスを取得する仕組みのこと。

→ IPアドレス

SCSI (スカジー):

Small Computer System Interface の略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。

ESNSB2とスキャナを接続する場合、他のSCSI機器を接続（デージーチェーン）することはできない。

SCSI ID:

SCSI機器を区別するために設定する番号のこと。機器間でID番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

ターミネータ (terminator) :

終端抵抗。SCSIなどの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取り付けて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

SMTP:

Simple Mail Transfer Protocolの略で、電子メールを送信するためのプロトコル。

TCP/IP:

TCP/IPはTransmission Control Protocol/Internet Protocolの略。コンピュータ・ネットワーク内の通信で使用される、世界的な標準プロトコルのこと。
→プロトコル

TWAIN(トウェイン):

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス(API)の規格。取り込みソフトウェア自体もTWAINと呼ばれる。

スキャナドライバは、このTWAIN規格に対応しているため、各種TWAIN対応アプリケーションから画像を直接取り込むことができる。

→ API

**10Base/100Base
(テンベース/ヒャクベース):**

Ethernetの仕様で定められたケーブル接続の規格。10Baseでは、ツイストペアケーブル(より対線)を使う10Base-Tが主流。

10Baseの機構をそのまま利用し、通信速度を100Mbpsに高めた規格を100Base-TXという。

→ Ethernet

アイウエオ**解像度 (resolution) :**

解像度には、[印刷解像度]と[画像解像度]と[表示解像度]などがある。

印刷解像度:

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹き付けて印刷(画像を表現)する。このインクの粒が約25.4mm {1インチ}幅にいくつあるかを[印刷解像度]といい、単位はdpi(dot per inch)で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

**画像解像度:→スキャナドライバ、
EpsonNet ScanAgentまたは
EpsonNet ScanEditorで設定する
解像度**

画像データ自体を構成する画素(点)が約25.4mm {1インチ}幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi(dot per inch)で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み/保存/読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

取り込む画像の解像度は50~数千dpiまで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度(出力機器の設定)をスキャナドライバの初期設定値以上に設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度:

画像をコンピュータのディスプレイに表示した時に、どのくらいの高さで表示されるかを表したもので、単位はピクセル(またはドット)。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

クライアント(Client):

ネットワーク上でサーバの提供するサービスを受けるコンピュータのこと。クライアントPCともいう。クライアントPCを使用する人を、一般にユーザーという。

ゲートウェイ:

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内LANとインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LANからはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。
→プロトコル

サーバ(Sever):

ネットワーク上でクライアントPCにさまざまなサービスを提供するコンピュータのこと。サーバを管理する人を、ネットワーク管理者またはシステム管理者などという。

サブネットマスク:

TCP/IPネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。従ってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクはIPアドレス同様に32bitからなり、クラスCでは24bit (255.255.255.0) が標準で使用される。
→TCP/IP、IPアドレス、bit

セグメント:

ネットワークの単位。各種接続機器を使ってセグメントを中継することで、ネットワークの規模が拡大される。

ネットワーク(Network):

データなどを伝送する通信網のこと。広域のネットワークをWAN (Wide Area Network) といい、同一建物内などのネットワークをLAN (Local Area Network) という。

ネットワーク管理者:

サーバ(ネットワーク)を管理すること。システム管理者などともいう。
→サーバ

プロトコル(Protocol):

異なったシステム間、ソフトウェア間で情報通信を行う場合に必要とされる、通信上のルール/約束事/規約のこと。接続の開始/終了から電子メールの形式まで、さまざまな規約を定めている。語源は外交儀礼。

ホスト名(Host name):

インターネットに接続されたコンピュータを特定する名称のこと。インターネットでは、インターネット上のコンピュータに識別子 (IPアドレス) を付けることでコンピュータを特定し、通信するが、IPアドレスは数字の羅列 (192.168.100.200など) のため、通常は分かりやすいホスト名 (http://www.iHove-epson.co.jpなど) を用いる。
なお、ホスト名を使用するには、DNSサービスが必要。
→IPアドレス

メモリ(memory):

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域といえる。
画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

ルータ:

ゲートウェイを参照。

索引

A		W	
ACアダプタ	29, 106	Webブラウザでの設定	122
ADF	71, 92, 110	Webブラウザの設定	35
AppleTalk	30	あ	
arp	120	アカウント	86, 98
D		アクセス権	48
DHCP	35	宛先グループ	101
E		宛先ユーザー	100
EpsonNet MacAssist		宛先ユーザーのメールアドレス	101
削除	114	宛先ユーザー名称	100
ネットワーク設定	30	宛先リスト	100
EpsonNet ScanAgent		アプリケーションとして起動	57
エラー	107	アンインストール	114
削除	114	い	
EpsonNet ScanEditor		イメージタイプ	70
削除	114	インストール	
EpsonNet WebAssist	122	EpsonNet ScanAgent	21, 56
EpsonNet WinAssist		EpsonNet ScanEditor	58
削除	114	スキャナドライバ	38
ネットワーク設定	30	インターネットサービスプロバイダ	22
Errorランプ	8, 105	え	
I		エージェントPC	15
IP Address	60	エラー	
ISP	22	EpsonNet ScanAgent	107
M		コピーユニット	108
MACアドレス	121	か	
N		解像度	72, 94
Networkランプ	8, 105	画像データ容量	94
P		管理者のメールアドレス	83
ping	120	き	
POP	22	給紙方法	110
POP Before SMTP	98	共有フォルダ	46
R		け	
Readyランプ	8, 105	現在のスキャンフォーマット	68
RESETスイッチ	8, 113	件名	95
S		こ	
ScanAgent用のメールアドレス	83	工場出荷時設定	113
SCSI	27	さ	
SMTP	22	サーバスキャン	
T		エラー	107
TCP/IP設定	44	エラーメッセージ	108
		概要	13
		共有フォルダ	46
		設定の流れ	52
		設定の前に	41
		トラブル	107
		ネットワーク構成	14
		サーバスキャンフォーマット	68, 71
		サーバスキャンユーザー新規登録	62

サーバスキャンユーザーフォルダ	46, 63
サービスとして起動	57
再インストール	114
削除	114
し	
受信メール (POP3) サーバの名前またはIPアドレス	85
新規登録	59
す	
スキャナドライバ	
インストール	38
接続テスト	39
取り込み	40
スキャナホームフォルダ	46
スキャナホームフォルダパス	61
スキャナ検索	60
スキャナ種類	69
スキャナ種類変更	112
スキャナ選択	111
スキャンEメール	
エラー	107
エラーメッセージ	108
概要	16
設定の流れ	76
ネットワーク構成	17
スキャンEメールユーザーのメールアドレス	98
スキャンEメールユーザーフォルダ	46, 87
スキャンEメールユーザー新規登録	87
せ	
接続テスト	
スキャナドライバ	39
そ	
送信メールのサイズを制限	83
送信メール (SMTP) サーバの名前またはIPアドレス	84
た	
ダイヤルアップルータ	35
と	
動作環境	
EpsonNet ScanEditor	21
ネットワークスキャン	20
ファイルサーバ	20
トラブル	
ESNSB2 本体	105
サーバスキャン	107
パスワードを忘れた時の対処	113
発生したら	104
に	
任意のネットワークスキャンボックス名	60
任意用紙サイズ	123

認証	98
認証方式	99
ね	
ネットワークスキャン	12, 37
ネットワーク設定	
Web ブラウザでの設定	122
ネットワークソフトの組み込み	44
ネットワーク環境	19
は	
パスワード	73, 99, 113
汎用フォーマット	68, 71
ふ	
ファイルサーバ	
共有フォルダ	46
ネットワーク設定	44
プリセット	110
プロキシサーバ	35
ファイルタイプ	92
ファイル名	71
プリセット	91
プロファイル	15, 66, 70
ほ	
本文	95
ま	
マルチページTIFF	71, 92
め	
メールアカウント	22, 42
メールアドレス	95
メールサーバ	83
メールサーバとの接続形態	82
メールで使う名称	100
メールの件名	97
メールの本文	97
メールプリセット	90
メール当りの最大サイズ	83
も	
モード	92
ゆ	
ユーザー名	62, 87
よ	
用紙サイズ	72, 93, 123
容量	22, 94
ら	
ランプ	8, 105
り	
両面	110

電波障害自主規制について — 注意 —

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんので、ご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- ・ 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- ・ 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- ・ 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- ・ パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042)582-6888までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 *一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンサービス(株)ホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様の希望にご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けするサービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **0570-090-090** (全国ナビダイヤル) 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通訪支店へ代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

札幌(011)222-7931 仙台(022)214-7624 東京(042)585-8555 名古屋(052)202-9531 大阪(06)6399-1115

広島(082)240-0430 福岡(092)452-3942 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日を除く)

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

(042)585-8444 【受付時間】月～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221-7911 東京(042)585-8500 名古屋(052)202-9532 大阪(06)6397-4359 福岡(092)452-3305

●スクール(エプソン・デジタル・カレッジ)講習会のご案内

東京 TEL(03)5321-9738 大阪 TEL(06)6205-2734

【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*スケジュールなどはホームページでご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/school/>

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンアートスタジオあずみ野 〒399-8201 長野県南安曇郡豊科町南穂高1115 スワンガーデン安曇野内

【開館時間】10:00～18:00(水曜日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! <http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

2003.5(B)



この取扱説明書は再生紙を使用しています。